

第2回 福井市文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会

日時 平成28年11月29日（火）午後1時30分～
場所 福井市役所 本館8階 第8会議室（A）（B）

議事次第

1 開会

2 前回策定委員会における質疑事項

3 協議事項

①現況調査

【基礎調査項目】

福井市および周辺文化施設の現状

市民利用の実態とニーズ

福井市のエンターテインメント市場

コンベンション・MICE の可能性

②施設の目指す方向性（案）

4 事務連絡

5 閉会

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）



わたくしたちは 不死鳥福井の市民であることに誇りと責任を感じ
郷土の繁栄と幸福をきずくため 力をあわせ 不屈の気概をもって
このねがいをつらぬきましょう

実践目標（平成26年4月～平成31年3月）

1 すすんで 親切をつくし とどけよう 明るいあいさつ 感謝のことば
愛情ゆたかなまちを つくりましょう

2 すすんで 健康にこころがけ みんな仲よく健康で 心も体もすこやかに
明るく活気あるまちを つくりましょう

3 すすんで くふうをこらし とりくもう わが家とまちの 美化運動
清潔で美しいまちを つくりましょう

4 すすんで きまりを守り まなびあおう 家庭の防犯 地域の防災
安全で住みよいまちを つくりましょう

5 すすんで 教育を重んじ わかまちふくい まなんて知って 誇りを持とう
清新な文化のまちを つくりましょう

（昭和39年6月28日制定）

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会

第2回 福井市文化会館 整備基本構想・基本計画策定委員会

I 前回策定委員会における質疑事項

平成28年11月29日

目 次

① 愛知県芸術文化センターの改修について	…	2
② 施設利用申請時の重複およびお断りの状況	…	3
③ 施設の目指す方向性と実現化の事例	…	4
④ 福祉会館のスペースを活用した駐車場台数試算	…	6
⑤ 連合音楽会が文化会館で開かれる理由	…	6
⑥ 著名アーティストがフェニックス・プラザで 公演する理由	…	7
⑦ 近年の多機能ホールの性能	…	8

①愛知県芸術文化センターの改修について

■改修工事で1年間休館する理由は？

設備の老朽化や安全対策の不備改善を行うことが目的。

【背景】

- ・竣工後22年を経て、施設設備の経年劣化による故障・不具合が顕著になってきた
- ・防災設備の等の機能保全が必要
- ・大規模空間における吊り天井の安全対策が必要

【改修目標】

- ①「利用者の安心・安全の確保」…利用する全ての人が、これからも安心して利用できる施設へ。
- ②「質の高い芸術創造機能の強化」
…照明・音響設備の更新等により、演目・演出の拡大やクリアで快適な鑑賞空間を提供。
- ③「魅力ある施設の維持」…スタッフの意見を踏まえた施設の魅力を高めるための工事を実施。

■休館期間（約2年半:各施設で休館期間をずらして設定）

施設名		休館期間
芸術劇場	小ホール	平成28年11月1日～平成29年10月13日（約11ヶ月）
	コンサートホール	平成29年8月1日～平成30年11月25日（約15ヶ月）
	大ホール（大・中リハーサル室を含む）	平成30年4月1日～平成31年4月22日（約13ヶ月）
美術館	8階 ギャラリー	平成29年11月28日～平成30年11月25日（約12ヶ月）
	10階 所蔵品・企画展示室	平成29年11月20日～平成31年3月31日（約16ヶ月）
アートスペースA～H室（12階）		平成29年11月28日～平成30年7月22日（約8ヶ月）

■ 愛知芸術文化センター施設概要（施設パンフレットより）

□面積／構造等

敷地面積:18,173m² / 建築面積:12,113m² / 延床面積:109,062m²

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下5階 地上12階

竣 工：平成4年6月30日（1992年） 開 館：平成4年10月30日（1992年）

□施設構成

○愛知県芸術劇場

大ホール	2,500席	コンサートホール	1,800席
小ホール	330席（最大）	大リハーサル室	約370m ²
中リハーサル室	約275m ²		

○愛知県美術館

所蔵品展示室	1,400m ² （5室）	企画展示室	1,480m ² （3室）
ギャラリー	3,113m ² （10室）		

○愛知県文化情報センター

アートプラザ	780m ²	アートライブラリー	580m ²
アートスペース	1,020m ² （9室）		

○利用者サービス施設

レストラン	喫茶室・喫茶コーナー	ビュッフェ	アートショップ
駐車場	約600台（都市計画駐車場含む）		

○共通スペース

アトリウム	展望回廊	屋上庭園	回遊歩廊
-------	------	------	------

②施設利用申請時の重複およびお断りの状況

■ 申し込みが重なって断ることはどれくらいあるか？

インターネットにより予約状況を確認できるため、希望日が取れず使用を諦めている件数は不明。

利用者はあらかじめ複数の利用候補日を準備してくる場合が多い。第1希望日が申し込みなくても別の候補日に申し込みため、利用を諦めることは少ない。

○福井市文化会館 予約について

- ・利用1年1ヶ月前の月の25日より受付開始。
- ・8:00から事務所にて先着順で申し込み受付。
- ・予約状況についてはインターネットで確認できる。

【参考】施設利用の申し込み方法について

■フェニックス・プラザ

1年前の月の初日の午前8:30から1階管理事務所にて先着順で申し込み受付
その後9:00から電話受付対応を開始。
(電話での受付時間は午前9:00から午後9:00まで)

■福井県立音楽堂(ハーモニーホールふくい)

利用する日の1年前の月の初日(その日が休館日にあたる場合はその翌日)
受付開始日は直接ご来館いただいたお客様から受付を開始。9:00より受付
ただし、受付開始日の午前9時30分の時点で同日、同施設、同区分に複数の申込者がある場合、抽選により受付順位を決定。それ以後は、先着順での受付。

各ホールとも利用者は複数の希望日を準備しているため、大きな混乱はない。

③施設の目指す方向性と実現化の事例 -1

① 可児市文化創造センター ala

名鉄 日本ライン今渡駅(タクシー5分、徒歩10分)
JR 可児駅(タクシー10分、徒歩30分)

基本構想・基本計画における施設の方針

- 1.自然と調和した都市環境の中核施設となる施設
- 2.市民と共に歩む施設
- 3.市民の文化活動の中核となる施設
- 4.可児市の特色をアピールできる施設
- 5.鑑賞と創造を両立できる施設
- 6.人と自然にやさしい施設
- 7.情報の交流拠点となる施設
- 8.文化活動を専門家が支援する施設
- 9.既存施設と連携した施設

2・7.「alaクルーズ」として可児市文化創造センターを拠点に活動する団体が誕生。(フロントスタッフ事業、自主の企画・運営・広報事業など)

5.主劇場、小劇場の他に演劇ロフト、音楽ロフト、美術ロフトや練習室、製作室、ワークショッフルームなど多様な部屋を設置し、鑑賞と創造を支えている。

8・9.「文学座」と「新日本フィルハーモニー交響楽団」の2団体と地域拠点契約を結び、公演やワークショップ、学校などへのアウトリーチ活動を展開

【参考】可児市文化創造センター ala



ワークショッフルーム



演劇ロフト



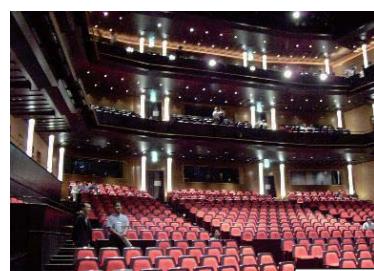
映像編集室



音楽練習室



制作室



主劇場



幼稚室



小劇場



主劇場

③施設の目指す方向性と実現化の事例 -2

② 北上市文化交流センター さくらホール 基本構想・基本計画における施設の方針

JR「北上」駅西口より車で約10分
JR北上線「柳原」駅より徒歩約7分

「水と緑豊かな文化・技術の交流都市きたかみ」

- ・文化芸術活動を通して人がうるおう
- ・市民に親しまれ、人でにぎわう
- ・市民の新たなシンボルとして、さまざまな人がふれあう

・さくらホールを拠点に活動するNPO団体「芸術工房」が誕生。
(フロントスタッフ協力・研修、自主の企画・運営・広報事業など)

・ホールや練習施設の他に、共用スペースを自由に利用できるようテーブルや椅子を配置し、気軽に立ち寄れる環境を整備。

・30年以上の歴史を持つ劇団「北上市民劇場」がさくらホールと協働して「北上市民劇場を盛り上げる会やっぺし」を設立。

【参考】北上市文化交流センター さくらホール



ガラス越しに練習風景を望む



サテライトスタジオを望む



共有スペースでミーティング



情報コーナーで自習



ステップホワイエでの演奏会



共有スペースでウォーミングアップ



ステップホワイエでの演奏会



共有スペースで休憩



共有スペースでウォーミングアップ

④福祉会館のスペースを活用した駐車場台数試算

■ 福祉会館のスペースでどれくらいの駐車場ができるか？

□ 福祉会館解体後、更地を青空駐車場とした場合

現建物面積	2500m ²	÷ 25m ² /台	= 100台
		(1台あたり25m ² 必要と計算)	
現外部駐車場			= 20台
計 120台			

□ 福祉会館と同じ延床面積の立体駐車場を建設した場合

現建物延床面積	6900m ²	÷ 25m ² /台	= 276台
現外部駐車場			= 20台
計 296台			

※ 既存福祉会館 地上7階建て
現外部駐車場台数 航空写真より推計

⑤連合音楽会が文化会館で開かれる理由

■連合音楽会は、なぜ県立音楽堂ではなく文化会館で実施されているのか？

【連合音楽会担当者からのヒアリング】

- ・基本的な利用料金が100%減免の対象で、金額的な負担が少なくて実施が可能。
- ・福井市の連合音楽会であるため、福井市の施設である文化会館を例年継続的に利用している。
- ・歩いて来れる距離の学校が多く、移動にかかる所要時間が短くて済む位置にある。

⑥著名アーティストがフェニックス・プラザで公演する理由

■著名なアーティストが、なぜ県立音楽堂ではなく、フェニックス・プラザで公演するのか？

【イベント企画運営会社からのヒアリング】

- ・興行的な側面から収容人員が多いフェニックス・プラザが選択肢の最初に位置付けられている。
- ・県立音楽堂はクラシック専用ホールのため残響時間が長く、電気楽器を利用する公演にはなじみにくい。
(スピーカーからの音が聞き取りにくい傾向にある)

【参考】市民が利用する意向について 利用料金の減免について

■福井市文化会館

免除の範囲	免除の割合	例(練習・リハ同等)
1 市内の幼稚園若しくは保育所の園児、小学校の児童又は中学校の生徒を対象とする教育関係団体が主催する行事及び市長が特に免除を必要と認める団体が主催する行事	100%	・市小中学校連合音楽会 ・吹奏楽発表会/市内中学校
2 福井市文化協会若しくは福井市文化協会に加入している団体又は福井市文化協会に加入していない文化団体であって、市長が免除を必要と認めるものが主催する行事及び市内に設置された学校の生徒又は学生を対象とする教育関係団体が主催する文化行事	50%	・バレエ発表会/バレエ教室 ・伝統芸能発表会/文化団体 ・卒業証書授与式/市内高校
3 市内の団体又はグループが主催する行事(1又は2の項に該当する場合を除く。)	10%	・ダンスイベント/市民団体
4 その他市長が特に免除の必要があると認めた行事	市長が定める割合	

■フェニックス・プラザ

免除の範囲	免除の割合	例(練習・リハ同等)
(1) 市内に事務所を有する次に掲げる団体のうち市長が特に認める団体 ア 地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条の2に規定する地縁による団体 イ 特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)第2条第2項に規定する特定非営利活動法人 ウ 婦人、青年及び老人の団体 エ 文化活動、福祉活動又は社会教育を行う団体	20%以内の額	・大学卒業証書授与式/市内大学 ・芸術鑑賞会・学校祭/市内高校 ・高齢者の集い/市 ・婦人の集い/(社) ・就職イベント/市内企業
(2) 市外に事務所を有する前項アからエまでに掲げる団体のうち市長が特に認める団体	10%以内の額	・コンサート/イベント事業者(基本料のみ)

■福井県立音楽堂(ハーモニーホールふくい)

免除の範囲	免除の割合	例
一 県が主催する事業であって条例第一条に規定する設置目的に添ったものに利用する場合	100%	
二 県が共催する事業であって設置目的に添ったものに利用する場合	50%	
三 国、県内の市町または芸術文化的振興を主たる目的とする団体で教育委員会が認めるものが主催する事業であって設置目的に添ったものに利用する場合	50%	・県合唱コンクール ・県吹奏楽コンクール
四 県内の二以上の学校(学校教育法第一条の学校)が実施する事業であって設置目的に添ったもののうち、その児童、生徒等が学校教育の一環として参加することを目的とするものに利用	100%	・学校文化祭・芸術祭 ・県民総合文化祭 ・アンサンブルコンテスト
五 設置目的に添った事業であって、県内の児童、生徒等が学校教育の一環として参加することを目的とするものに利用する場合	50%	
六 前各号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認める場合	教育委員会が必要と認める額	

⑦近年の多機能ホールの性能

- 近年の多機能ホールは、技術の進歩により専用ホールに劣らない性能を確保できる。

【音楽的な利用性能を向上させる技術】

音響反射板セット時に反射板同士の隙間が少なくなる動作制御技術と施工技術が発達

⇒音楽的利用でも客席や演奏者に音がいきわたりやすい

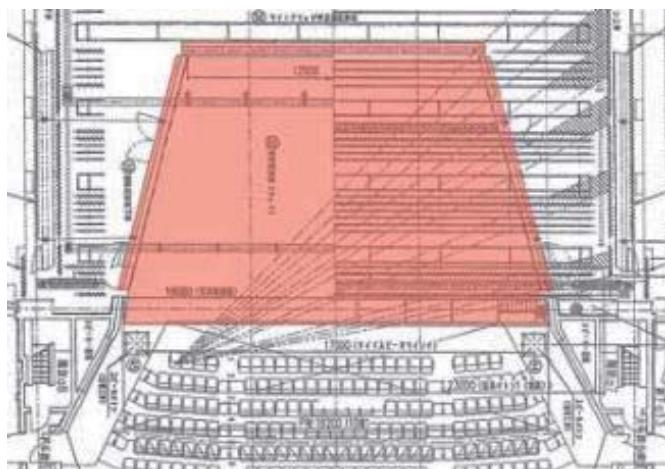
【舞台の利用性能を向上させる技術】

音響反射板を舞台後方など主舞台に影響ない位置に収納する技術の発達

⇒演劇や式典で利用するバトン配置が柔軟に計画でき、演出の自由度が高まる

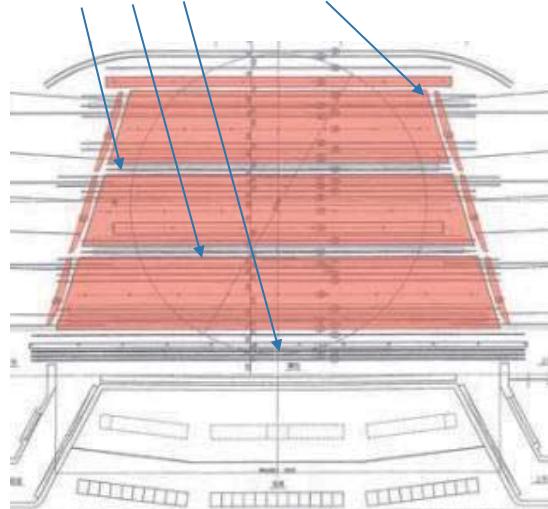
【参考】近年の多機能ホールの性能 -1

音響反射板の隙間が小さい



都城市総合文化ホール MJ 大ホール
定員1,461名 「音楽主目的多機能ホール」

音響反射板の隙間が大きい

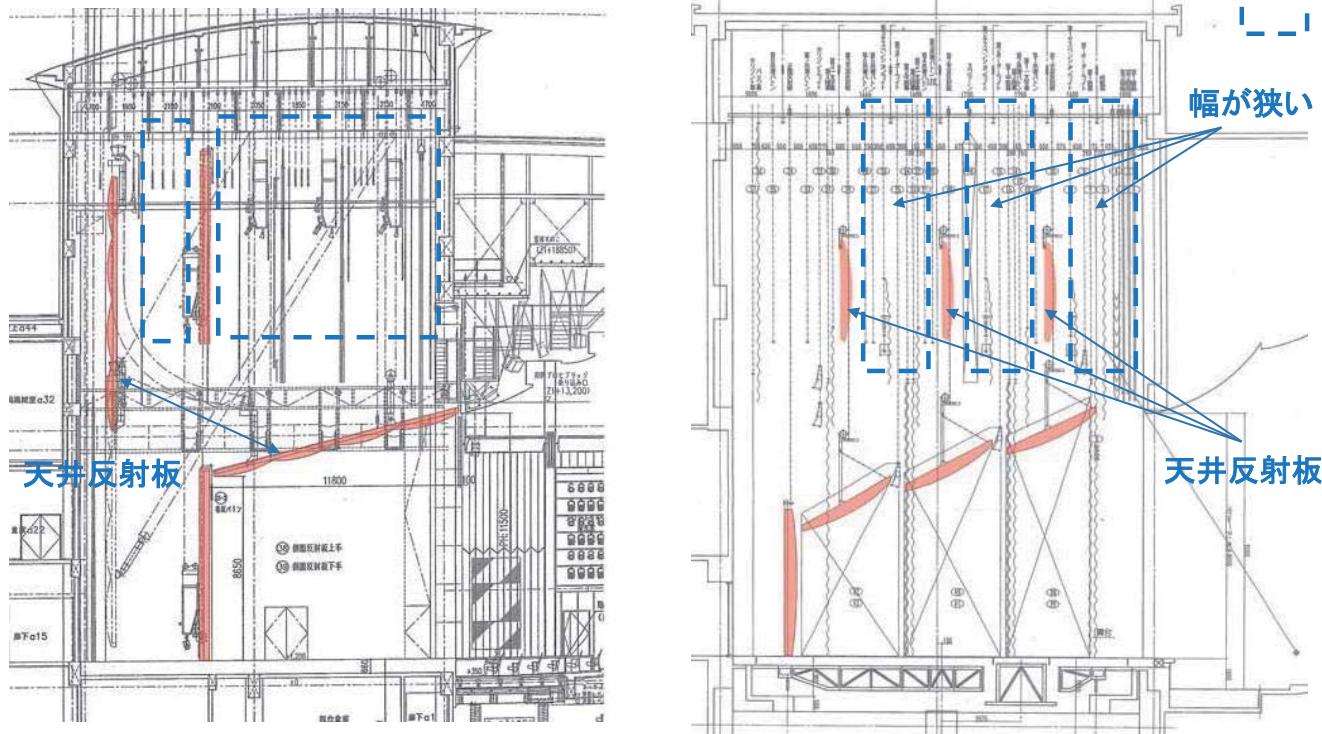


福井市文化会館
定員1,162名

- ・都城市総合文化ホールは音響反射板の隙間は少ない
- ・福井市文化会館は舞台先端や側面部など隙間が大きい

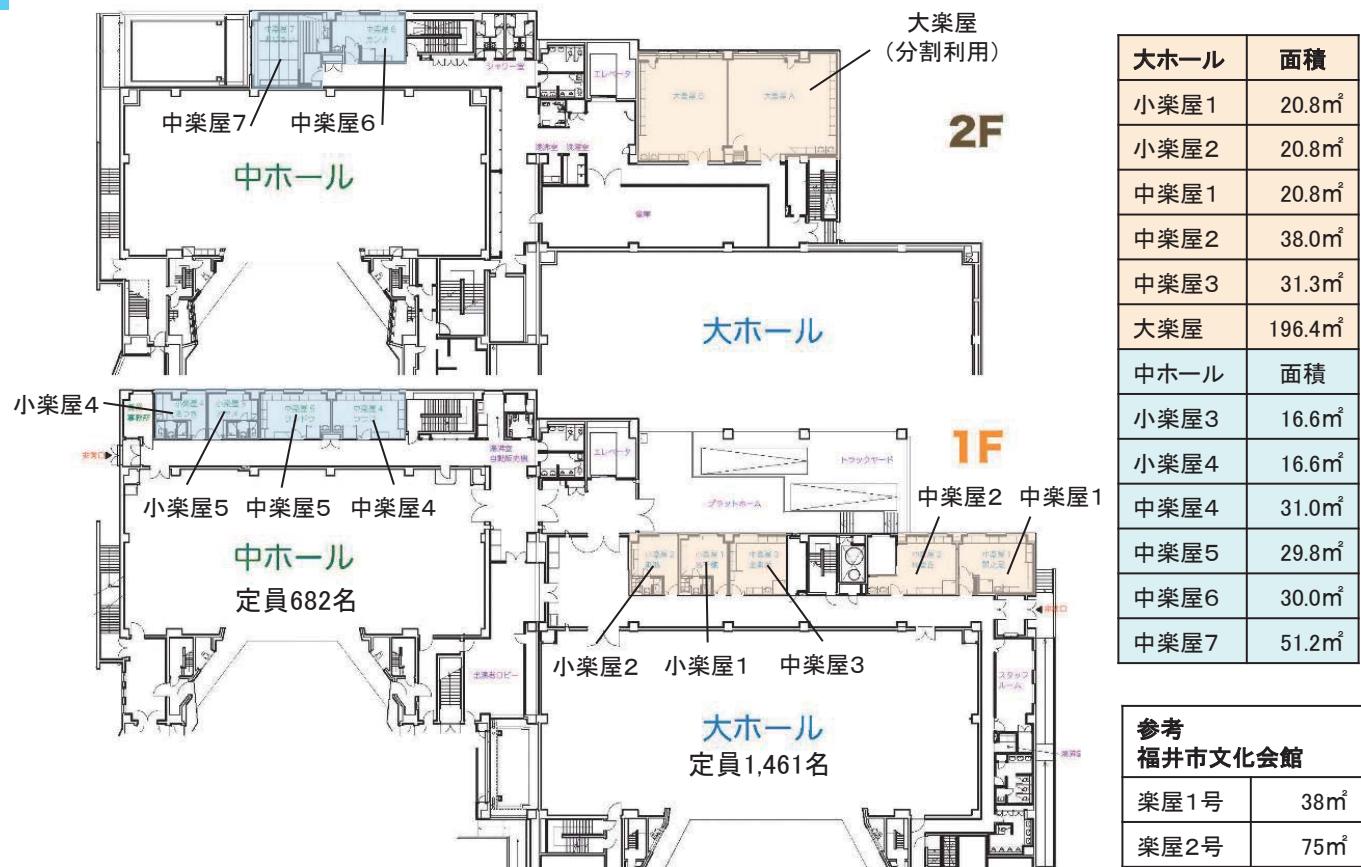
【参考】近年の多機能ホールの性能 -2

バトン配置可能エリア



- ・都城市総合文化ホールは音響反射板の収納位置が舞台後方のため、バトン配置が柔軟に配置可能。また反射板セット時の隙間も少ない
 - ・福井市文化会館は天井反射板が3台ありバトン配置がしにくい

【参考】近年の多機能ホールの性能 -3



- ・大ホール公演時に楽屋が不足する場合、中ホール楽屋を利用することが可能

第2回 福井市文化会館 整備基本構想・基本計画策定委員会

II 現況調査

平成28年11月29日

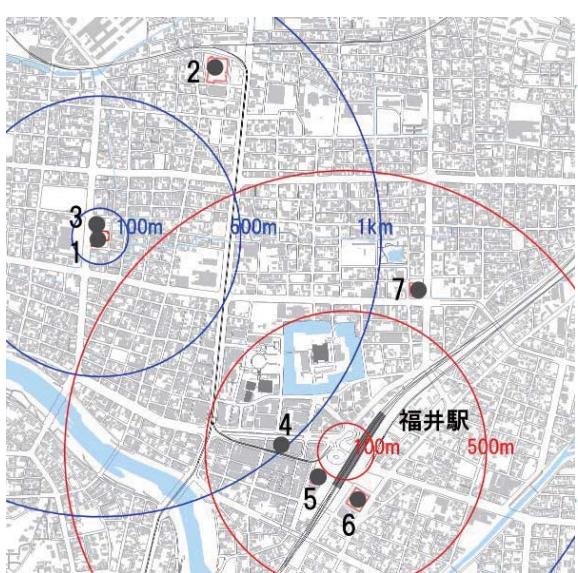
目 次

① 福井市および周辺文化施設の現状	…	2
② 市民利用の実態とニーズ	…	8
③ 福井市のエンターテインメント市場	…	17
④ コンベンション・MICEの可能性	…	20

① 福井市および周辺文化施設の現状

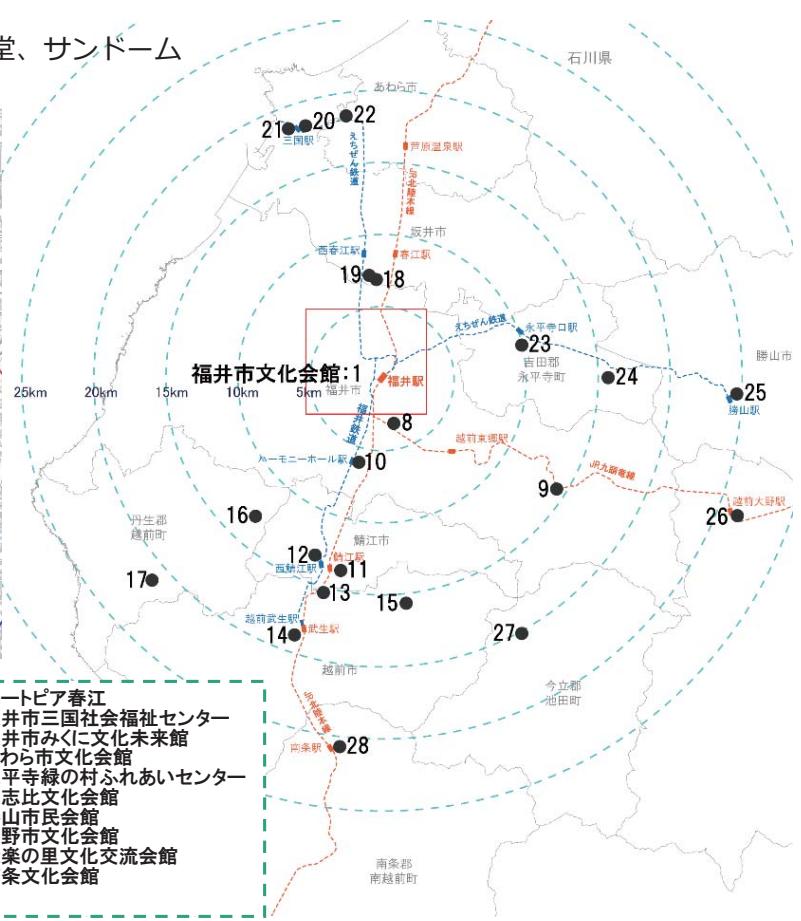
嶺北エリアの文化ホール分布状況

- 福井市および周辺各市に立地
- 福井市の南に全県を対象とした県立音楽堂、サンドーム



1:福井市民会館
2:フェニックス・プラザ
3:福井市福祉会館
4:響のホール
5:ハピリン
6:福井県民ホール
7:福井県国際交流館

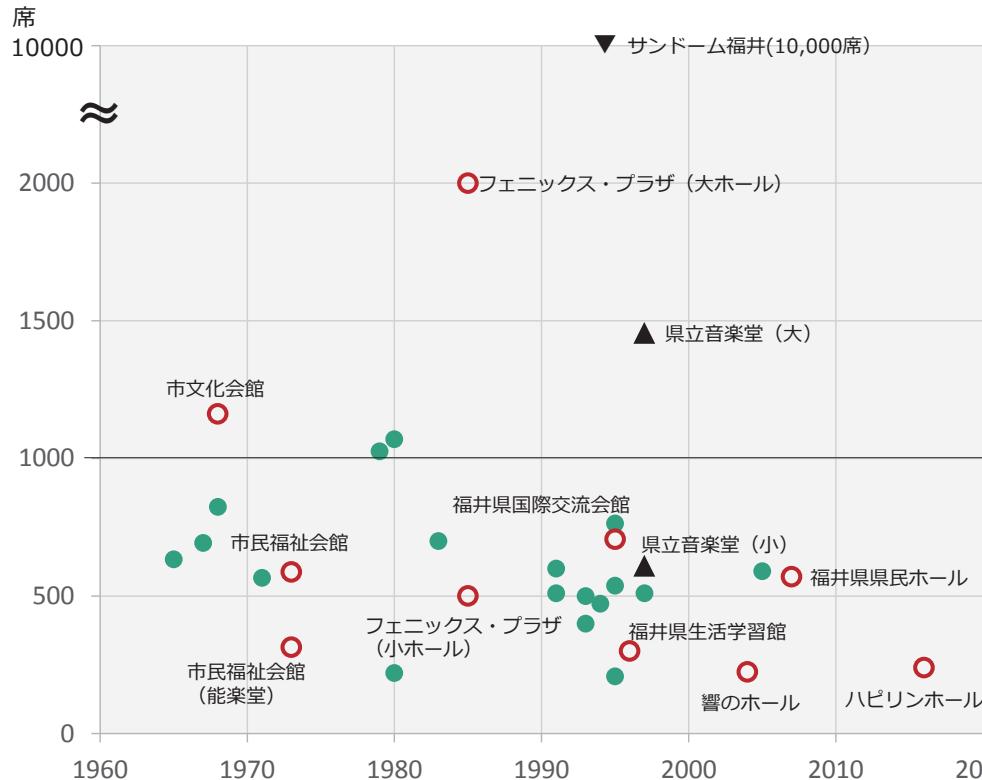
8:福井県生活学習館
9:福井市木ごころ文化ホール
10:福井県立音楽堂
11:鯖江市文化センター
12:鯖江市鶴陽会館
13:サンドーム福井
14:越前市文化センター
15:越前市いまだて芸術館
16:越前町朝日多目的ホール
17:越前陶芸村文化交流会館
18:福井県児童科学館



19:ハートピア春江
20:坂井市三国社会福祉センター
21:坂井市みくに文化未来館
22:あわら市文化会館
23:永平寺緑の村ふれあいセンター
24:上志比文化会館
25:勝山市民会館
26:大野市文化会館
27:能楽の里文化交流会館
28:南条文化会館

嶺北エリアの文化ホールの建設時期および規模

- 1980年頃まで、各市で最初のホールを建設
- 1990年以降は県立音楽堂、サンドームを除き中小ホールが主体
- 1000席～2000席のホールは福井市周辺を含めて5施設
- 鯖江市文化センター、越前市文化センターとも築35年超



福井市内および周辺主要ホールの比較 ①立地・敷地・建物規模

	文化会館	フェニックス・プラザ 大ホール	県立音楽堂 大ホール
建設時期	1968年	1985年	1997年
立地・アクセス	中心市街地外縁部 福井駅1.2km 福井鉄道仁愛高校駅 500m 京福バス西公園前停留所前	中心市街地外縁部 福井駅1.5km 福井鉄道・えちぜん鉄道田原町駅	福井市南部 福井駅6km、国道8号線沿線 福井鉄道ハーモニーホール駅
駐車場	なし(近隣駐車場70台)	403台	約600台
敷地面積	2,600 m ²	15,326 m ²	67,136 m ²
建物延床面積	5,439 m ²	13,488 m ²	11,649 m ²
周辺環境 (用途地域)	用途混在市街地 (商業、近商、一種住居)	用途混在市街地 (近商、一種住居)	-

- 文化会館は福井駅から徒歩20分程度。駐車場がなく公共交通はバス便が主体となる
- フェニックス・プラザも福井駅徒歩圏内外。駐車場が確保されており、鉄道利用も容易
- 文化会館、フェニックスいずれも周辺は住居系市街地が主体
- 県立音楽堂は福井市郊外に立地。幹線道路でのアクセスが容易で、駐車場台数も多い
- 福井鉄道ハーモニーホール駅が音楽堂建設にあわせて整備されている
- 郊外ならではの広大な敷地で建物と周辺が一体的にデザインされている

福井市内および周辺主要ホールの比較 ②施設の概要と特徴

	文化会館	フェニックス・プラザ 大ホール	県立音楽堂 大ホール
施設設置目的等 (条例より抜粋)	市民の文化及び教養の向上	豊かな生活環境形成と生涯学習推進のために、文化交流等を深める場	県民の音楽文化の振興、芸術文化の向上
席数	1,162	2,000	1,456
用途	多目的	多目的	音楽専用
舞台(幅×奥行×高さ)	18×14×8(m)	19×14×8(m)	24.4×13.5×15.4(m)
ホール特徴	オケピット、回り舞台、迫り	可動席	パイプオルガン、ひな壇迫り
併設施設	ホール	–	小ホール(500席)
	樂屋	2	7+1(控室)
	リハーサル室	–	1
	練習室	–	–
	会議室	5	7
	その他	応接室 3	和室 2、茶室 1、応接室 1、映像ホール 1、トレーニングルーム 1

- ・文化会館は音楽から演劇、伝統芸能まで多様な演目に対応。ホールを支える諸室が少ない
- ・フェニックス・プラザ大ホールは、可動客席としてコンサートから演劇、講演、パーティなど多様なイベントに対応。様々な文化交流活動に対応する諸室を併設
- ・県立音楽堂はクラシック音楽専用ホールで音響重視。鑑賞、発表、練習に必要な諸室を併設

福井市内および周辺主要ホールの比較 ③減免制度と利用料金

	文化会館		フェニックス・プラザ 大ホール		県立音楽堂 大ホール	
減免の対象	教育関係団体、文化団体等が主催する行事		婦人・青年・老人団体 文化福祉教育団体 NPO等		施設目的に沿った公共や文化芸術団体・学校等の活動	
免除の割合	100%、50%、10%		20%以内		100%、50%	
利用料金(円)	平日	土・日・休日	平日	土・日・休日	平日	土・日・休日
	全日(9-22時) (1席あたり)	99,300 (85.5円)	120,900 (104.0円)	194,400 (97.2円)	237,600 (118.8円)	135,770 (93.2円)
	10%	89,370	108,810	174,960	213,840	122,193
	20%	–	–	155,520	190,080	–
	50%	49,650	60,450	–	–	67,885
	100%	0	0	–	–	0

減免対象団体は限定的
だが活動は比較的自由
で、免除割合も高い

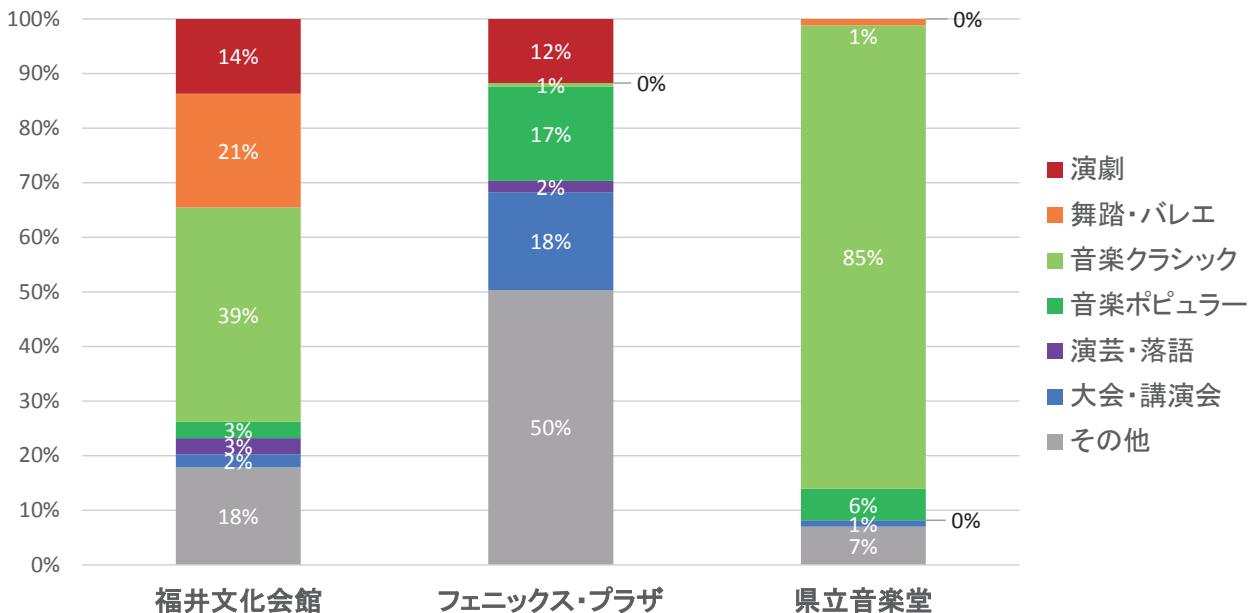
減免対象団体および活
動の幅は広いが、免除
割合は低い

減免対象団体および内
容ともに限定的だが、免
除割合は高い

- ・利用料金は、免除がなければ施設間の違いは15%程度(1席あたり)

福井市内および周辺主要ホールの比較 ④利用ジャンル

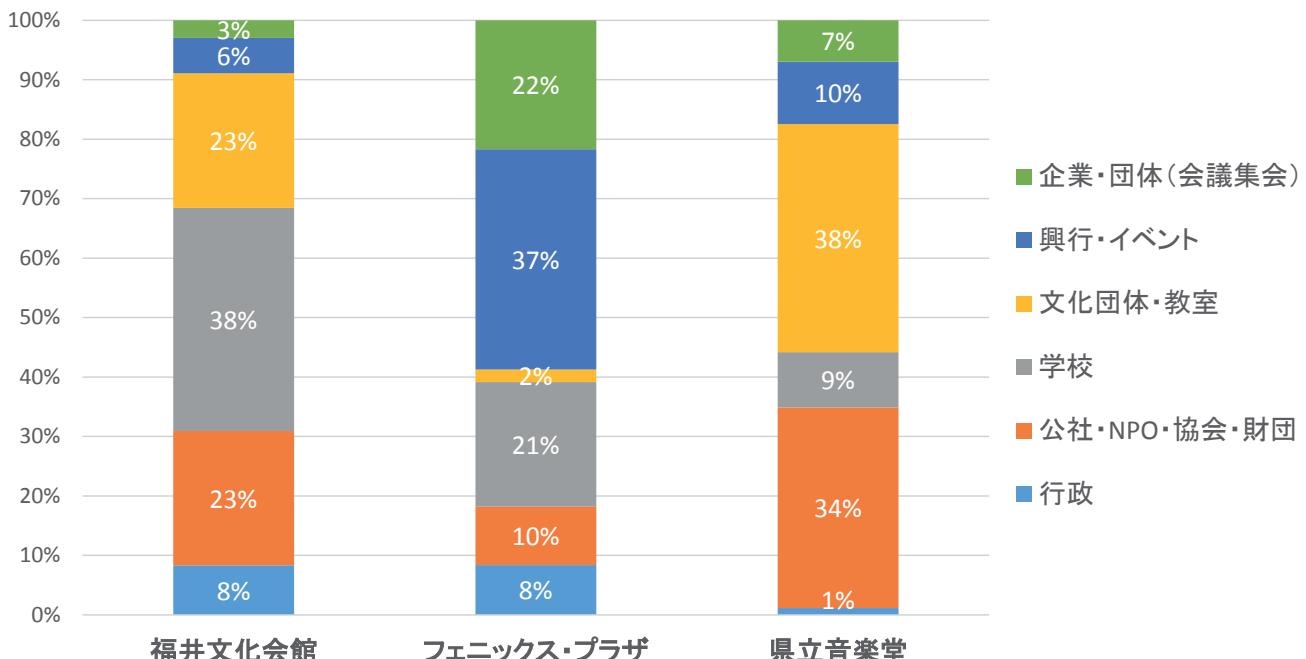
【利用ジャンル割合】



- ・市文化会館は、演劇や音楽・ダンス・伝統芸能等の発表会など文化活動が8割。残りは式典・大会・講演会など
- ・フェニックスは、演劇およびポップスを主体とした音楽で約3割。このほか各種行事、式典、大会、講演会、平土間を利用したパーティ、展示会など利用のしかたは多様。
- ・県立音楽堂は、クラシック音楽が大半

福井市内および周辺主要ホールの比較 ⑤利用団体

【利用団体ジャンル割合】



- ・市文化会館は、行政・NPOのほか、地元文化団体、教育機関等の利用が大半。企業・団体が続く。イベント等による興行はわずか。
- ・フェニックスは、イベントやメディア等の利用(興行)が多い。文化団体、学校、企業も利用
- ・県立音楽堂は、プロ、文化団体(合唱・吹奏楽連盟等)、大学(OB含む)や高校の楽団利用が主体

福井市内および周辺主要ホールの比較 ⑥ホール利用状況 (H27年度)

	文化会館	フェニックス・プラザ 大ホール	県立音楽堂 大ホール
年間利用者数	72,645人	155,634人	108,838人
年間稼働率	44.4%	38.3%	78.3%
利用日数/利用可能日数	160日/360日※1	138日/360日	249日/318日
本番/準備・リハーサル日数	61日/101日※1	108日/34日	92日/157日
休日/平日利用日数	71日/89日	74日/64日	52日/32日※2※3
休日/平日稼働率	60.2%/36.8%	62.7%/26.4%	-
自主/貸館	35日/127日	8日/111日	105日/144日
本番回数	70回	111回	86回※2
本番1回あたり利用者数	1,037人/回	1,402人/回	1,265人/回※2

※1 1日のうちに複数の利用者が本番、準備を行ったケースが2日

※2 県立音楽堂 年間公演実績表よりTW集計(他は全体集計表より引用)

※3 本番日のみ

- ・県立音楽堂が高稼働。
- ・文化会館とフェニックスの稼働率は40%前後だが、本番/リハ比率が大きく異なる。
- ・フェニックスは本番日が多く、文化会館・音楽堂はリハ日が多い。(減免の影響可能性大)
- ・各施設とも休日の利用率が高く、平日の利用率が低い。
- ・文化会館・フェニックスは貸館主体で、音楽堂は自主事業も豊富。
- ・本番1回あたりの利用者数は、各施設ともキャパシティの70%以上。

福井市内の中小規模ホールの現状

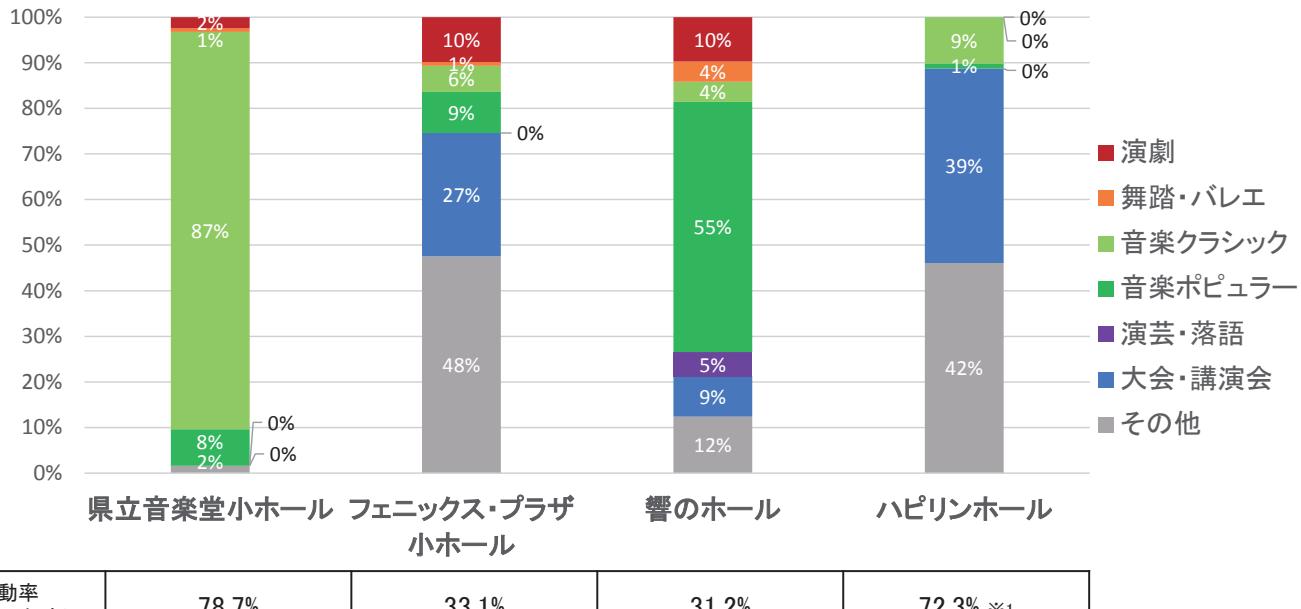
- ・県立音楽堂以外はすべて多目的ホール
- ・各施設の目的に関連した様々な交流活動の場として位置付けられている
- ・実際の利用は、県立音楽堂、響のホール以外は、コンサートや発表会から各種講演まで多用途

	施設設置の目的	席数	舞台 幅×奥行×高さ(m)	施設の特徴
福井県生活学習館 (ユー・アイふくい)	男女共同参画、女性の活躍支援、県民の生涯学習の充実	712	24×16×12.2 (ホール全体)	多目的ホール(平土間)
福井県県立音楽堂 (小ホール)	県民の音楽文化の振興、芸術文化の向上	610	15.2×8.3×12.7	音楽専用ホール
福井県民ホール (アオッサ)	県民相互の交流の場を提供し、地域の文化および産業を振興	570	12.9×11×7.2	多目的ホール(移動観覧席) プロセニアム形式、オープンステージ、平土間に対応
フェニックス・プラザ (小ホール)	豊かな生活環境形成と生涯学習推進のための文化交流促進	500	9.5×6×4.5	多目的ホール(移動観覧席) プロセニアム形式、平土間に対応
福井県国際交流会館	国際交流活動を推進し、世界に開かれた地域社会を実現	300	12.5×5.5×3	多目的ホール(移動観覧席) プロセニアム形式、平土間に対応
響のホール (福井まちなか文化施設)	中心市街地の活性化、まちの賑わい形成	224	7.2×7.5×7.5	多目的ホール(移動観覧席) プロセニアム形式、平土間に対応
ハピリンホール (福井市にぎわい交流施設)	中心市街地の賑わい創出のための交流促進・情報発信	240	2.15×8.1×8.0 奥行は能舞台前まで	多目的ホール(移動観覧席) 能舞台を有する

福井市内の中規模ホールの稼働率及び利用ジャンル

- ・県立音楽堂、響のホール以外は、コンサートや発表会から各種講演まで多様
- ・県立音楽堂はクラシックの演奏会中心でピアノ発表会が半数。稼働率は8割近い。
- ・県民ホールはコンサート、演劇・舞踊等の発表、式典や講演会・学会などに利用。文化活動は半分弱
- ・フェニックス・プラザは企業や団体等の式典・大会・集会・講演、学校や文化団体の発表会等に利用
- ・響のホールはアマチュアからプロまでバンドの利用が主体。運営主体が民間で賃料が高め

【利用ジャンル割合】



※1 H28.4-8の5ヶ月間

市内文化ホールの現状 主要ホール比較のまとめ

■市文化会館

- ・減免制度を利用して、リハーサルや練習など気軽に利用
- ・興行(鑑賞)やコンベンション等の利用は少ない
- ・会議室は企業団体の会議研修・説明会等が多く、文化関連活動はわずか

⇒ 市内学校や文化団体の発表会や練習など、アマチュア主体の文化活動拠点

■フェニックス・プラザ

- ・貸館主体。大ホールは興行(コンサート、演劇)、企業や団体の大会や集会も多い
- ・客席を動かしてパーティーや展示会などにも利用
- ・減免割合が低いため、学校利用は少なく、リハーサル利用も少ない

⇒ 規模を活かした興行、企業団体の大会・集会・パーティ等、各種イベント・交流拠点

■県立音楽堂(ハーモニーホール)

- ・大ホールはプロを含む楽団のコンサートやコンクールなどに利用
- ・小ホールはピアノの発表会やリサイタルなどが主体。予約できないケースあり
- ・郊外立地で車のアクセスが容易で駐車場が600台あること、音響の良さが高評価
- ・夜22時まで使える練習室の利用率(日)は100%近い

⇒ 福井市を中心とした嶺北地域におけるクラシック音楽鑑賞、発表、練習拠点

② 市民利用の実態とニーズ

文化団体アンケート

【文化団体アンケート概要】

●アンケート内容

- ・文化団体の概要について
- ・練習・稽古・創作などの日常活動場所について
- ・発表・公演・展示などの活動場所について
- ・福井市文化会館について

●期間 : 平成28年9月16日～10月14日

●対象団体 : 福井市文化協会に所属する文化団体

母数N=77団体 回答団体n=56団体

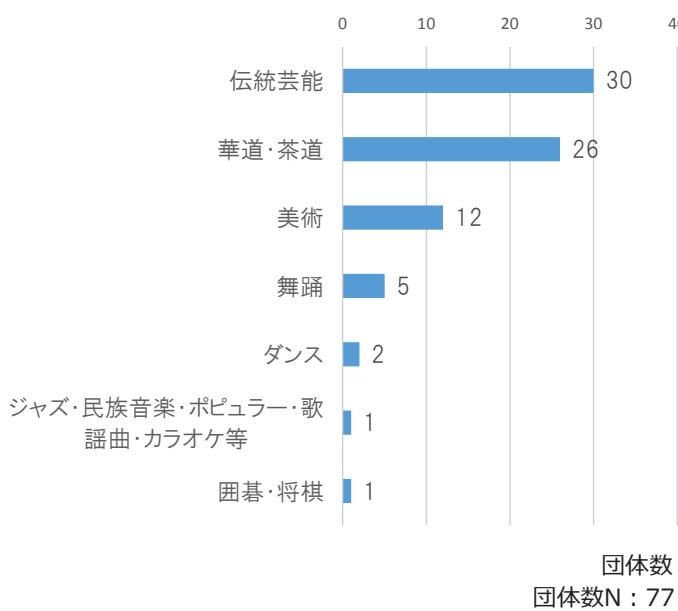
回収率 : 72.7%

市文化団体の活動状況(文化団体アンケートより) -1

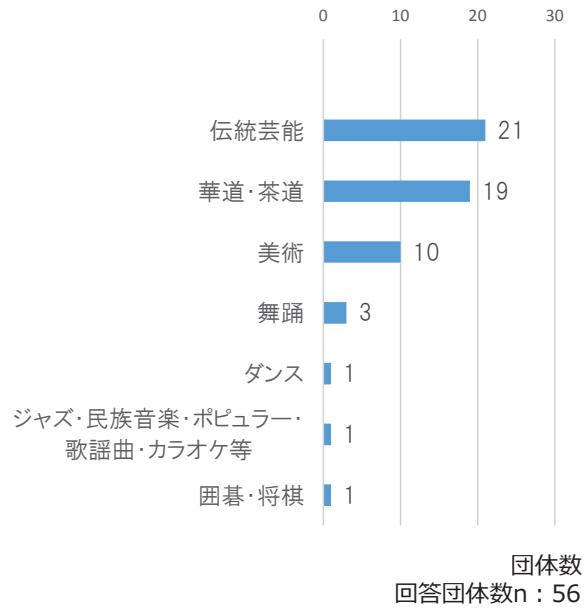
①活動団体の内容、種類

- ・伝統芸能、伝統文化に関わる団体が主体

【文化協会所属団体ジャンル内訳】



【回答団体活動ジャンル内訳】

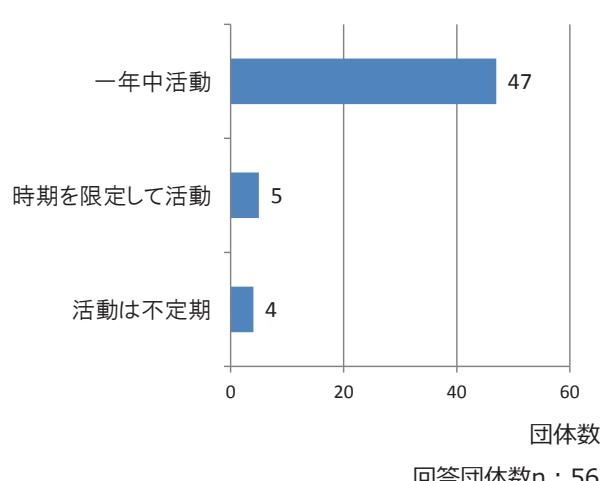


市文化団体の活動状況(文化団体アンケートより) -2

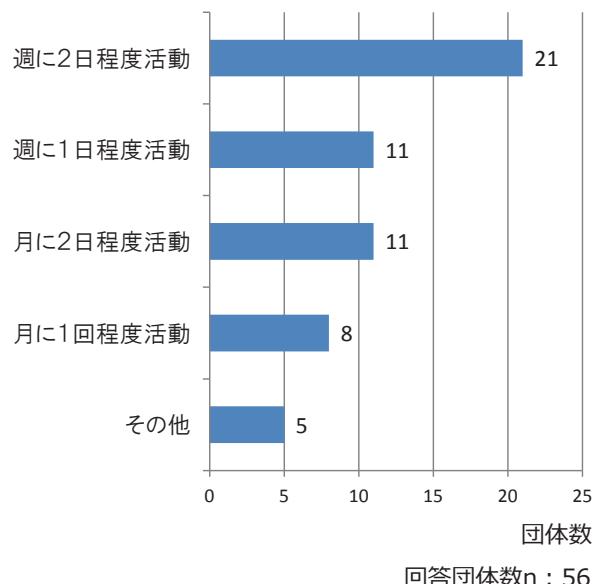
②普段の活動

- ・1年中活動している団体がほとんど
- ・週に1日以上の活動が半数以上

【活動時期について】



【活動頻度について】



市文化団体の活動状況(文化団体アンケートより) -3

②練習・稽古・創作の活動場所

- 普段の練習場所は個人や団体の自宅やスタジオ・稽古場、公民館・集会所が半分以上

【各分野文化団体の主な活動場所】

※

分野	①音楽・演劇・ダンス	②伝統芸能	③伝統文化	④絵画・書道
1	個人スタジオ ・稽古場	個人スタジオ ・稽古場	福井県 国際交流会館	フェニックス ・プラザ
2	公民館・集会所	公民館・集会所	個人宅	公民館・集会所
3	—	ハピリンホール 福井県生活学習館 個人宅	その他	美術館

※各分野文化団体内訳

①音楽・演劇・ダンス

ジャズ・民族音楽・ポピュラー・歌謡曲・カラオケ等、
舞踊、ダンス

②伝統芸能

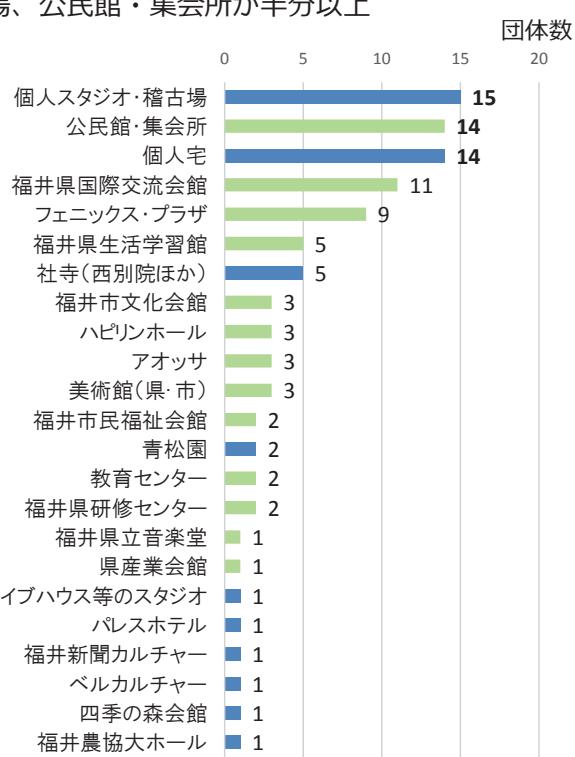
伝統芸能

③伝統文化

華道・茶道、

④絵画・書道

美術、囲碁・将棋



■ 公共施設
■ 民間施設

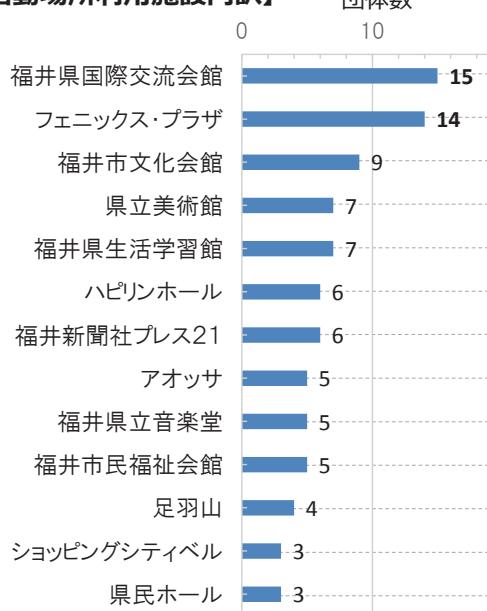
回答団体数n : 56、複数回答

市文化団体の活動状況(文化団体アンケートより) -4

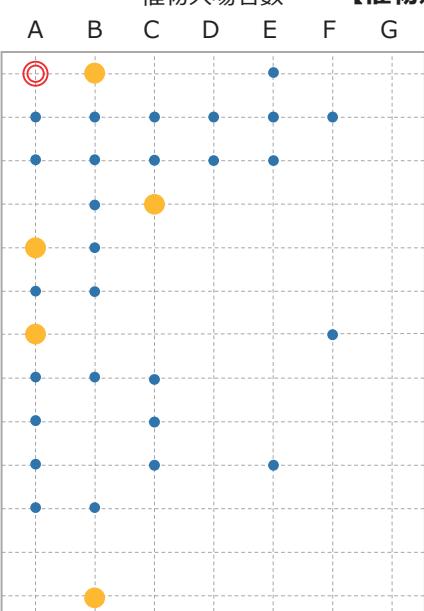
③発表・公演・展示などの活動場所

- 公共施設が主体
- その他の施設では、公民館、民間施設、寺院などが多い

【発表活動場所利用施設内訳】



【催物入場者数】



【催物規模別利用施設内訳】

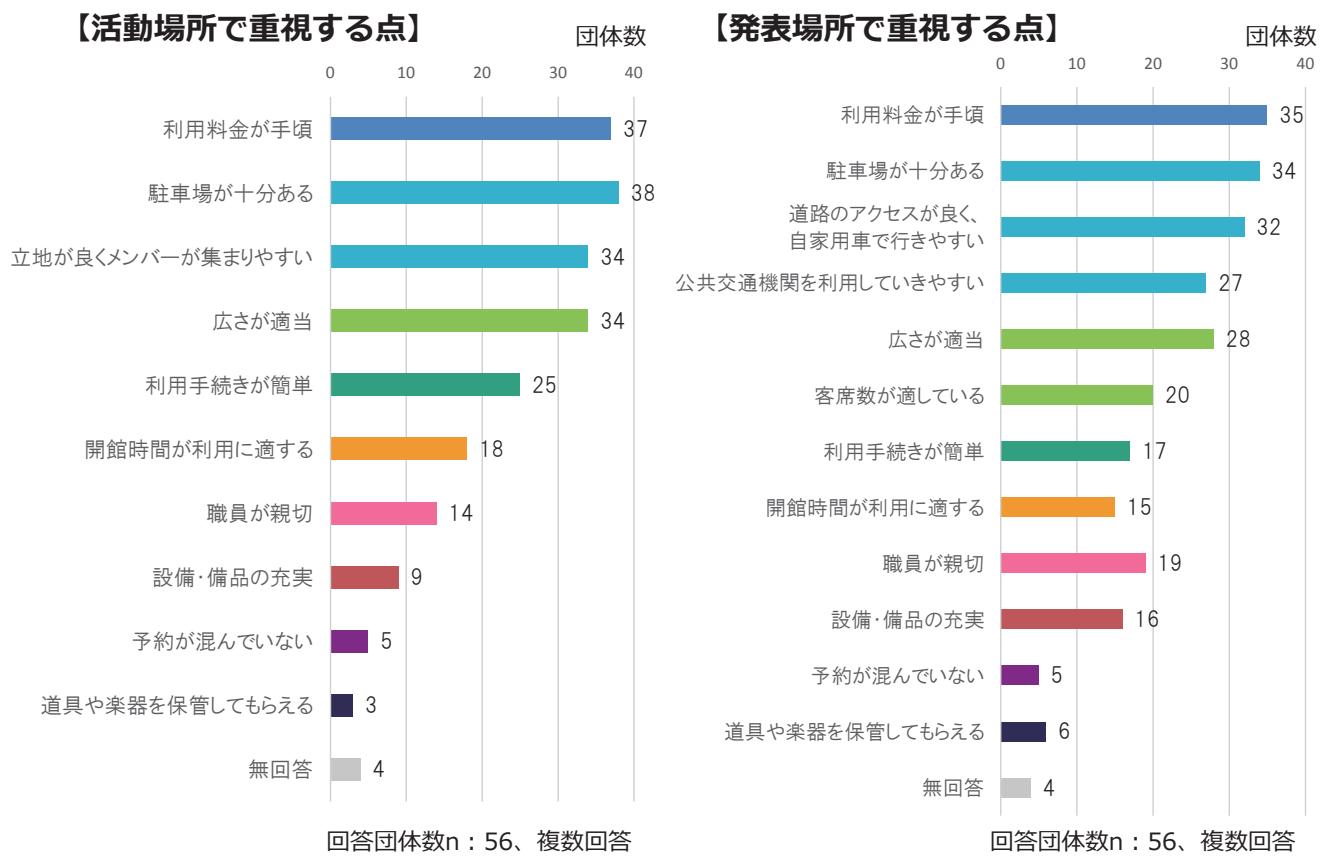
■ 催物入場者数規模
A : ~300人
B : 301~600人
C : 601~900人
D : 901~1200人
E : 1201~1500人
F : 1501~1800人
G : 1801人~
● 催物件数
◎ 10件以上
○ 4-9件
● 1-3件

回答団体数n : 56、複数回答

規模別催物件数 合計101件

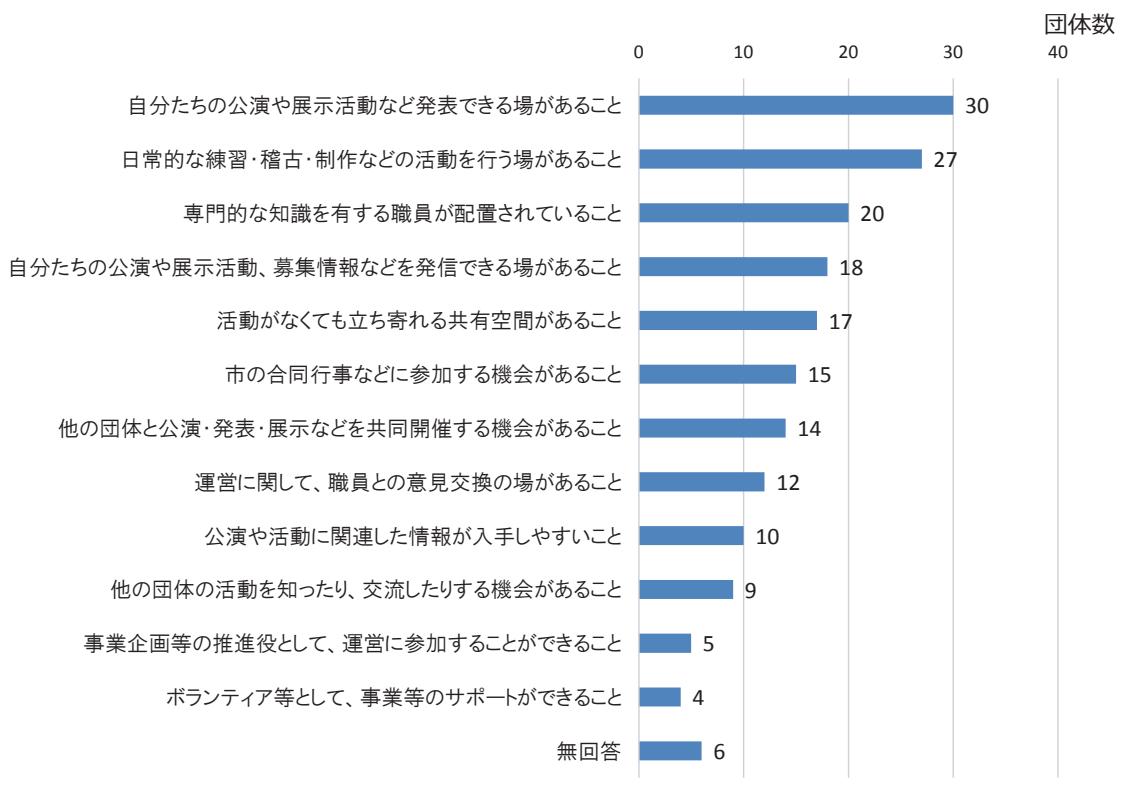
市文化団体の活動状況(文化団体アンケートより) -5

④文化団体の施設重視点



市文化団体の活動状況(文化団体アンケートより) -6

⑤福井市文化会館の市整備に対して期待すること（施設面・運営面）



回答団体数n : 56、複数回答

市民アンケート(中間結果)

【市民アンケート概要】

●アンケート内容

- ・鑑賞ジャンル・良く行く施設・その理由など
- ・文化活動の有無・活動場所など
- ・よく訪れる場所、充実が望まれる施設
- ・福井市内の文化施設の来訪・その施設の満足度

●期間：平成28年10月20日～11月30日

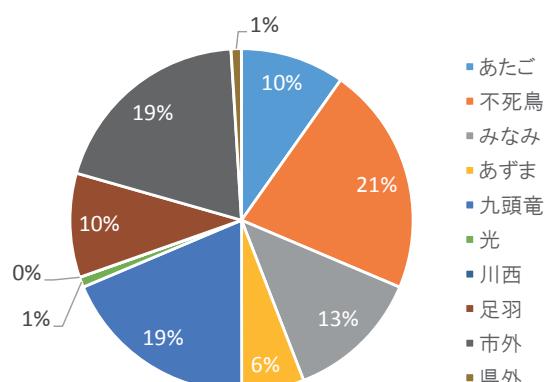
※11月11日時点 回答者数102名分の集計

●対象：福井市内外の方

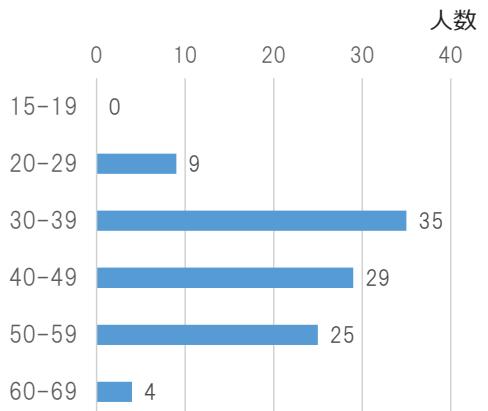
●方法：インターネットでのアンケート用紙配布 インターネットでの回答

市民の活動状況(市民アンケートより) -1

(1) 居住地



(2) 年代



回答者数N : 102

回答者数N : 102

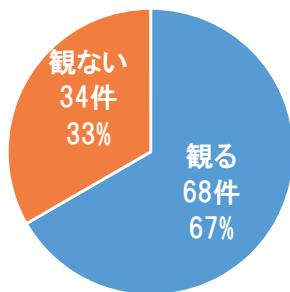
■ 地区名 地区内小学校

回答者数

地区名	地区内小学校	回答者数
あたご	木田、豊、足羽、湊	10
不死鳥	春山、宝永、順化、松本、日之出、旭、日新	22
みなみ	清明、東安居、社南、社北、社西、麻生津	13
あずま	和田、円山、啓蒙、岡保、東藤島	6
九頭竜	西藤島、中藤島、河合、森田、明新	19
光	安居、一光、殿下、越酒、清水西、清水東、清水北、清水南	1
川西	大安寺、国見、鶴、棗、鷹巣、本郷、宮ノ下	0
足羽	酒生、一乗、上文殊、文殊、六条、東郷、美山	10
市外	県内	20
県外	県外	1

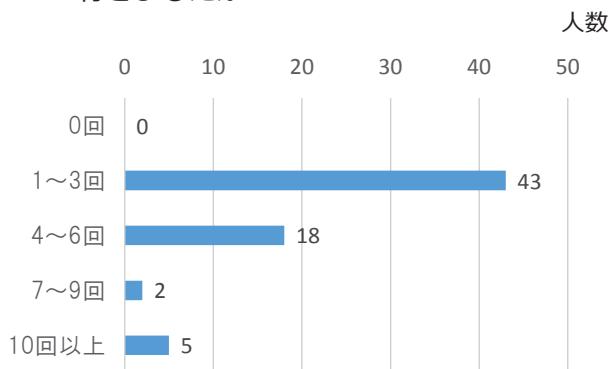
市民の活動状況(市民アンケートより) -2

1. 年に一度以上、劇場・ホールに足を運び、公演をご覧になりますか？



回答者数N : 102

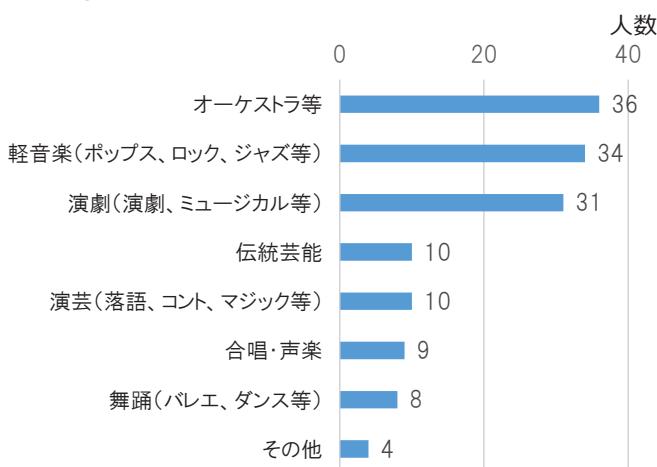
1 - ① 昨年1年間に何回、劇場・ホールに行きましたか？



回答者数n : 68
※ 1で【観る】と答えた人のみ

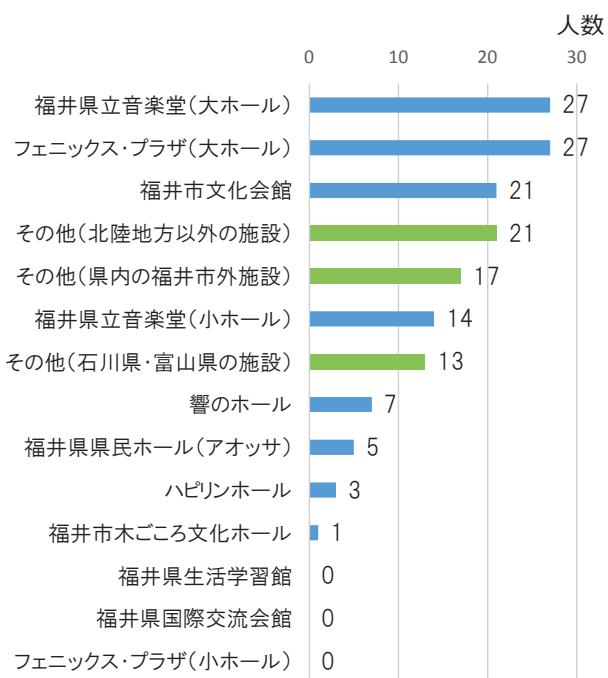
市民の活動状況(市民アンケートより) -3

1 - ②主な鑑賞ジャンルは何ですか？



回答者数n : 68、複数回答
※ 1で【観る】と答えた人のみ

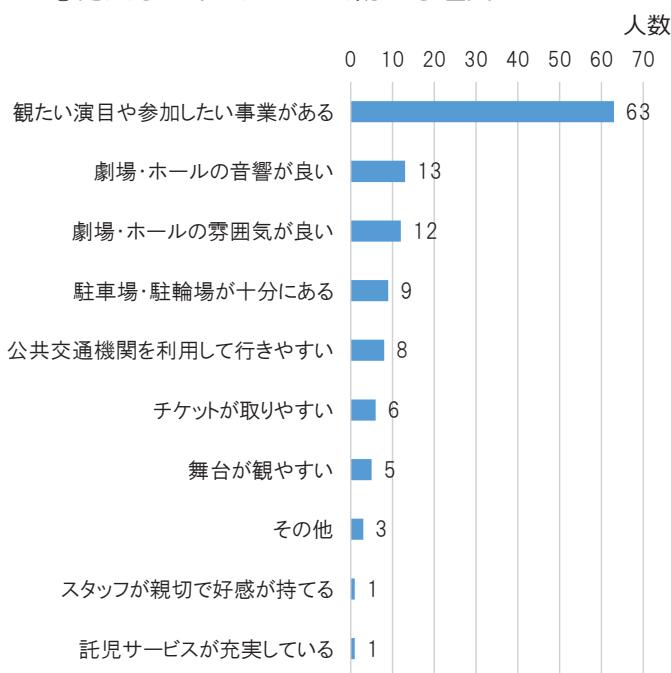
1 - ③公演鑑賞でよく訪れる劇場・ホール



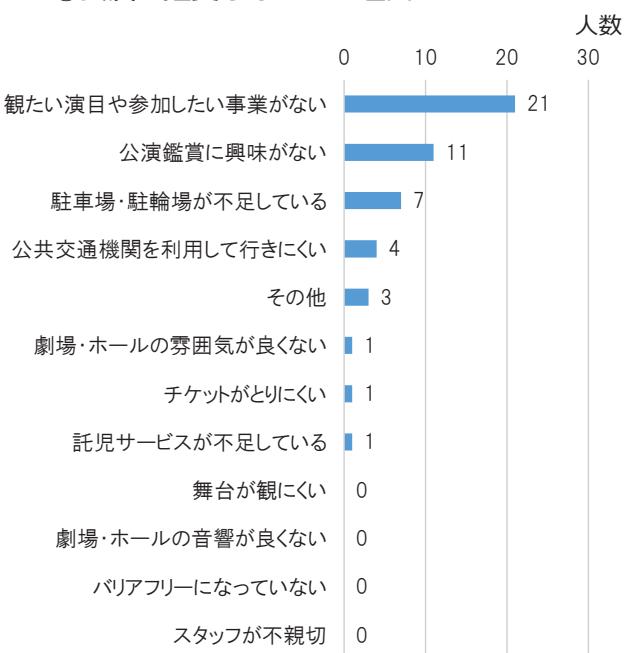
回答者数n : 68、複数回答
※ 1で【観る】と答えた人のみ

市民の活動状況(市民アンケートより) -4

1-④記入したホールをよく訪れる理由



1-⑥公演を鑑賞しなかった理由

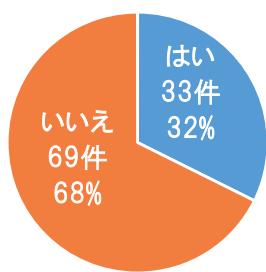


回答者数n : 68、複数回答
※1で【観る】と答えた人のみ

回答者数n : 34、複数回答
※1で【観ない】と答えた人のみ

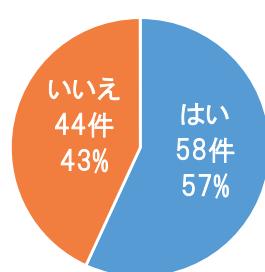
市民の活動状況(市民アンケートより) -5

1-⑦福井市では、公演鑑賞について満足な機会や環境が提供されていますか。



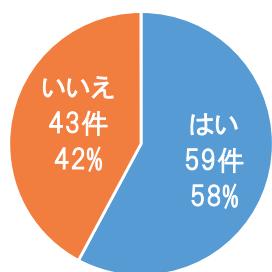
回答者数N : 102

1-⑧福井市では、公演鑑賞について満足な情報が提供されていますか。



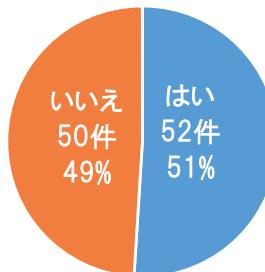
回答者数N : 102

2-⑤福井市では、文化活動について満足な機会や環境が提供されていますか。



回答者数N : 102

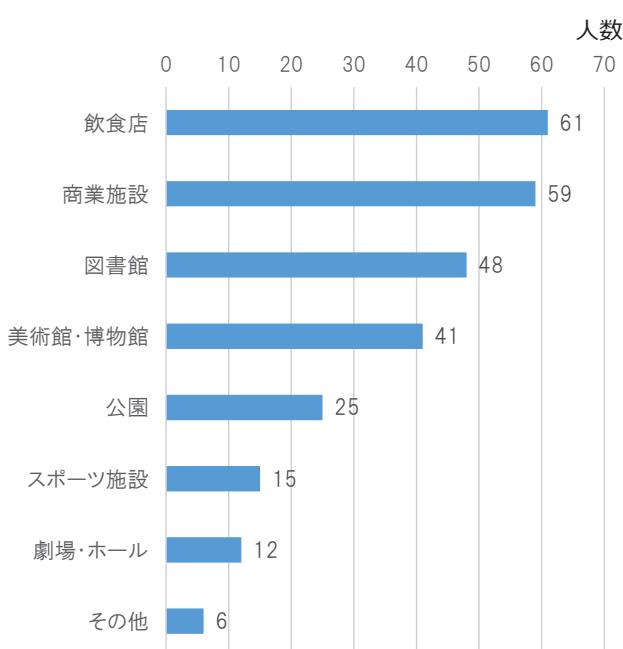
2-⑥福井市では、文化活動について満足な情報が提供されていますか。



回答者数N : 102

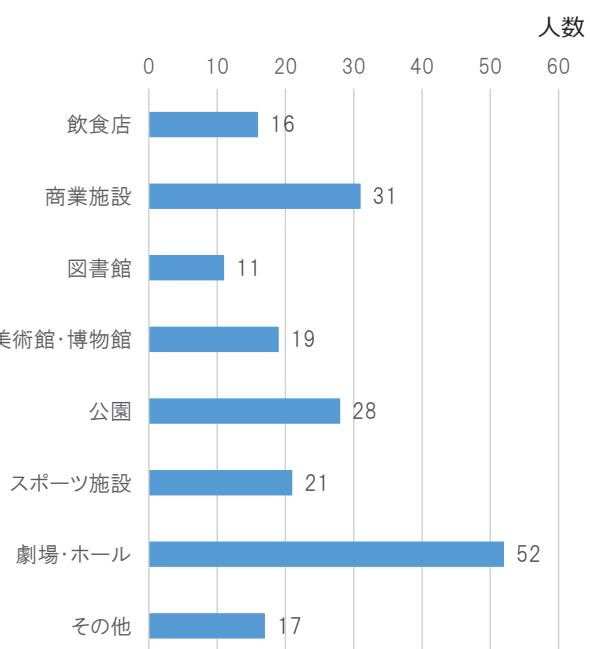
市民の活動状況(市民アンケートより) -6

3. 余暇でよく訪れる福井市内の場所



回答者数N : 102、複数回答

4. 余暇を充実させるために
福井市内でさらなる整備が必要だと思う場所



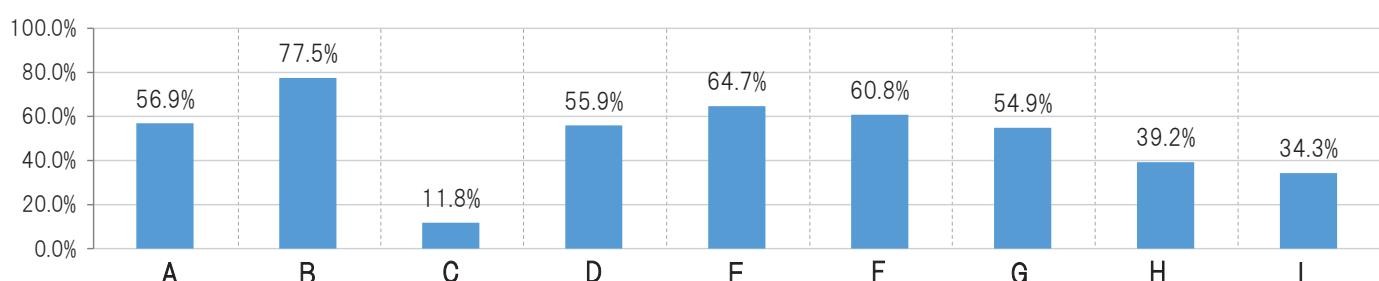
回答者数N : 102、複数回答

市民の活動状況(市民アンケートより) -7

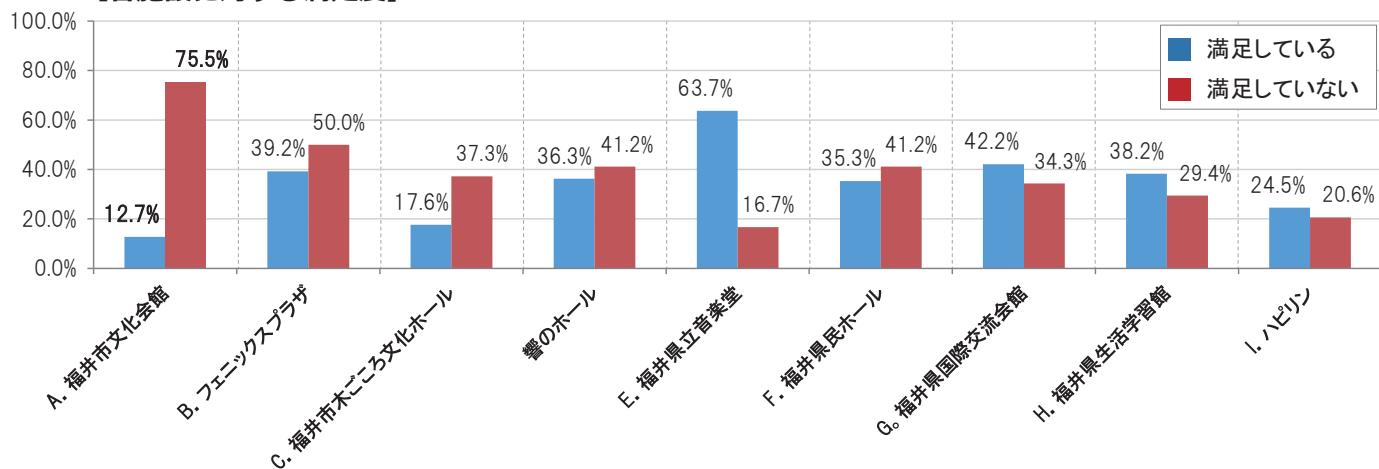
福井市内の文化施設・ホールについて

回答者数n : 102

【直近3年間の施設訪問経験がある】



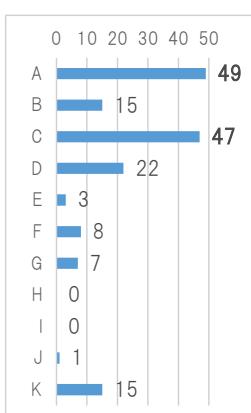
【各施設に対する満足度】



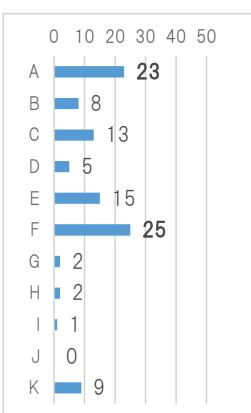
市民の活動状況(市民アンケートより) -8

回答者数n :
各施設に対して【満足していない】
と回答した人

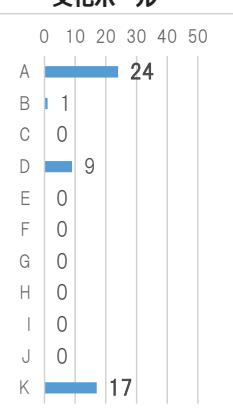
A. 福井市文化会館



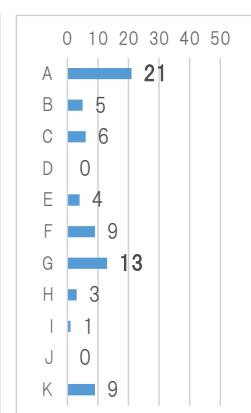
B. フェニックス・プラザ



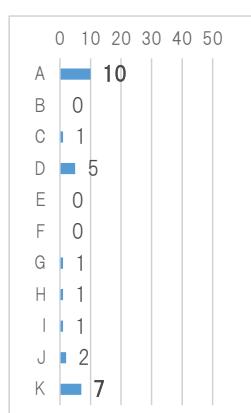
C. 福井市木ごころ
文化ホール



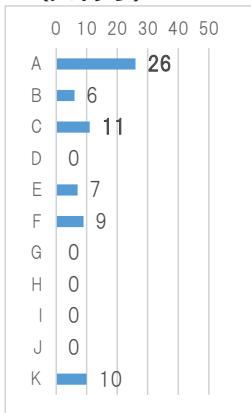
D. 韶のホール



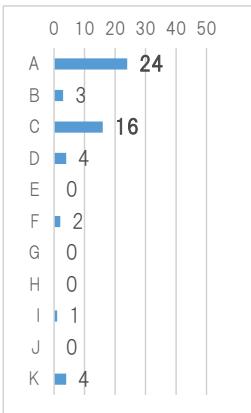
E. 福井県立音楽堂



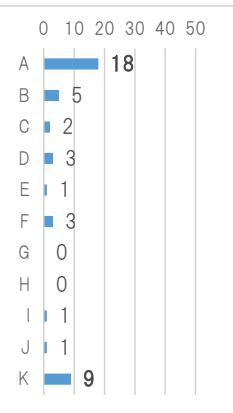
F. 福井県民ホール
(オッサ)



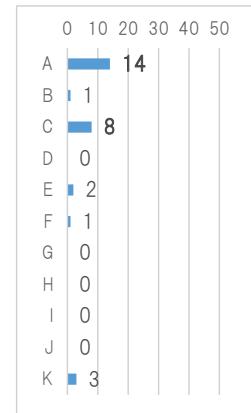
G. 福井県国際交流会館



H. 福井県生活学習館



I. ハピリンホール

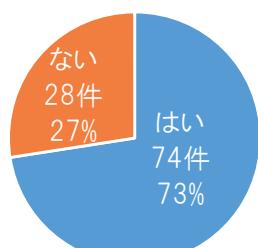


満足していない理由凡例

観たい演目や参加したい事業がない	A
劇場・ホールの雰囲気が良くない	B
駐車場・駐輪場が不足している	C
公共交通機関を利用して行きにくい	D
舞台が観にくい	E
劇場・ホールの音響が良くない	F
施設がバリアフリーになっていない	G
チケットがとりにくい	H
スタッフが不親切	I
託児サービスが不足している	J
その他	K

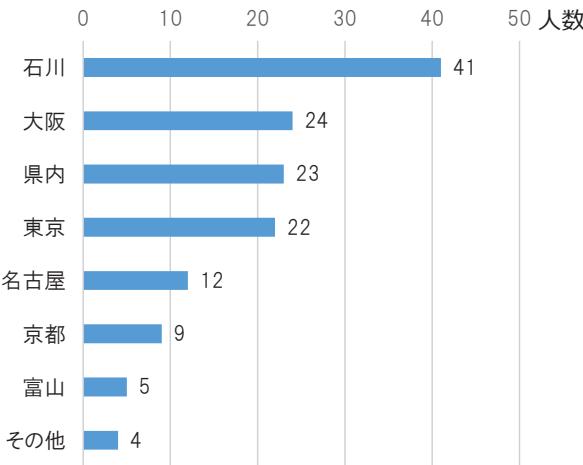
市民の活動状況(市民アンケートより) -9

福井市外の文化施設・ホールの直近3年間の来訪経験



回答者数N : 102

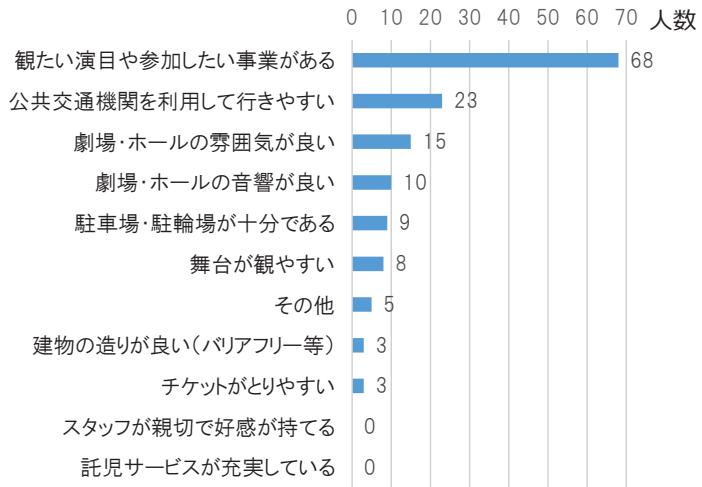
5-①その施設・ホールの所在地はどこですか。



回答者数n : 74、複数回答

※福井市外の文化施設・ホールの直近3年間の
来訪経験があると回答した人

5-②その施設・ホールを訪れる理由はなんですか。



回答者数n : 74、複数回答

※福井市外の文化施設・ホールの直近3年間の
来訪経験があると回答した人

市民の活動状況(市民ワークショップより)

【第1回市民ワークショップの結果より】

【福井文化会館のいいところ】

- ・歴史があり、重厚感がある
- ・劇場スタッフが親切
- ・ピアノ、オーケストラピット等設備が揃っている
- ・立地が良い
- ・利便性が良い
- ・市民参画の場がある
- ・音響が良い
- ・芸術文化の専用劇場である
- ・1000人収容が可能



【福井文化会館の良くないところ】

- ・周辺に何もなく、立地が悪い
- ・交通の便が悪く、駐車場が少ない
- ・リハーサル室、練習室、楽屋等必要諸室が不足している
- ・利用時間の制約がある
- ・情報発信が少ない
- ・市民が集いやすい雰囲気でない
- ・収容人数が少ない

【ふくいぶんかじまん】

- ・伝統、歴史がある
- ・人とのつながりがある
- ・意欲がある人が多い、皆親切
- ・大都市に近い
- ・文化活動がさかん 等

【ふくいまちじまん】

- ・景観が良く自然が豊か
- ・食べものがおいしい
- ・人が良い
- ・街のつくり、路面電車が走っている 等

③ 福井市のエンターテインメント市場

(事業者へのヒアリング結果)

福井県・福井市のエンターテインメント市場評価

■ 福井県・福井市の市場性について

- プロモーターにとって市場性がないわけではない
⇒フェニックス・プラザは、土日利用の予約が現状3～4倍という認識
⇒興行は、出演者によってその地域に「市場をつくる」ことができる
- 興行に適した規模(座席数)や設備等の要件が整った施設が少ない
- 現状では、北陸三県(石川、富山、福井)の中で興行を行うとなった場合は、一番最後の選択肢になることは否めない

■ 福井市内で興行利用される施設

- ロック・ポップス等の音楽ジャンルが多く、市内のホールではフェニックス・プラザ(約2,000席)の利用頻度が各事業者で高い
- 立ち見のライブハウスとして利用したり小さな規模の興行の場合等には、響のホールが利用される
- 全国をまわるドームツアーで、サンドーム福井が利用される
- 福井市文化会館は、フェニックス・プラザができる前は、福井市内の1,000席以上のホールとしてよく使われていたが、現在は、フェニックス・プラザよりも少ない集客見込の興行を行う施設、又はフェニックス・プラザの代替として位置づけられている

(事業者へのヒアリング結果)

興行の観点から見た文化会館の主な問題点・課題

■ 座席数・規模

- 興行利用を目的とした場合、現状では小さい、又は中途半端

■ ステージ、バックヤード、楽屋

- ステージには舞台袖がなく、メインステージ以外のスペースが狭い
- 搬入口が狭く、搬入動線に階段があり、非常に不便
- 楽屋が老朽化しており、空調設備の効きが悪い

■ トイレ

- トイレ(観客用・出演者用)が古く、便器が和式であり、ウォシュレットが備わっていない

■ 交通手段

- 駐車場台数が少ない上に、現在地は鉄道駅から距離があり交通不便

■ 周辺宿泊施設

- 観客だけでなく、出演者やスタッフが使う適切な宿泊施設がなく、また宿泊地としての魅力について他都市に比べて劣るところがあり、出演者を呼びにくく

(事業者へのヒアリング結果)

興行利用する場合の備えるべき主要な要件 -1

1. 座席数

- ・福井エリアにおいては、1,500席～1,600席のホールが欠けており、望まれる

2. 駐車場・公共交通

- ・車社会であるため、駐車場を十分に整備すること
- ・公共交通手段があること、できれば特に、鉄道駅の近くであることが望ましい

3. 搬入口・搬入動線

- ・搬入口から舞台まで、段差がなく移動できること
- ・搬入口を起点に、舞台・楽屋をスムーズに移動できるよう配置されていること
- ・搬入口にプラットフォームを設置する場合、11tトラックが最低2台つけられるようにすること
- ・周辺道路においても、11tトラックが通りやすい道路があること

4. ステージ、バックヤード

- ・メインステージは、間口12間・奥行10間の広さが必要で、加えて舞台袖や舞台の裏に余裕のあるスペースが必要

5. 楽屋

- ・楽屋がきれいで、空調などの設備が整っている施設であることが望ましい
⇒ 出演者側と会場を調整する際に、きれいで快適な施設の方が呼びやすい

(事業者へのヒアリング結果)

興行利用する場合の備えるべき主要な要件 -2

6. 客席

- ・2階席、3階席を作る場合は手すりで舞台が見えないことがないように、脇の方は見切れが生じないように設計すること(観客からクレームが出る施設は使えない)
- ・公演によっては、音響設備を張り出す場合があるため、前方の座席は柔軟に取り外しができるのが望ましい

7. トイレ

- ・トイレは、出演者用も含めてウォシュレットを備えることが望ましい

8. 施設使用料

- ・ホールの座席数が、1,500～1,600席の規模の場合、1回あたりの公演で、40万円程度であれば、利用できる

9. 利用時間

- ・ホールの利用時間以外は使えないのではなく、準備・撤収のための時間(特に公演後の撤収)に施設が使えるようなルールになっていなければ、興行利用は難しい

10. ホール周辺の環境

- ・観客は、公演の前後も含めた娯楽として公演を見に来るため、ホールの周辺に親和性のない施設(公共施設など)を配置することは避け、逆に、飲食店(おしゃれなカフェやレストランなど)が立地しているのが望ましい
- ・観光的な観点で、周辺エリアの魅力を高めることも重要

④ コンベンション・MICEの可能性

MICE(マイス)とは

- Meeting …企業等の会
- Incentive Travel …企業等の行う報奨・研修旅行
- Convention …国際機関・団体、学会等が行う国際会議
- Exhibition/Event …展示会・見本市、イベント

福井市観光振興計画(平成28~32年度)での位置づけ

方向性3 五感に響く観光メニューの提供

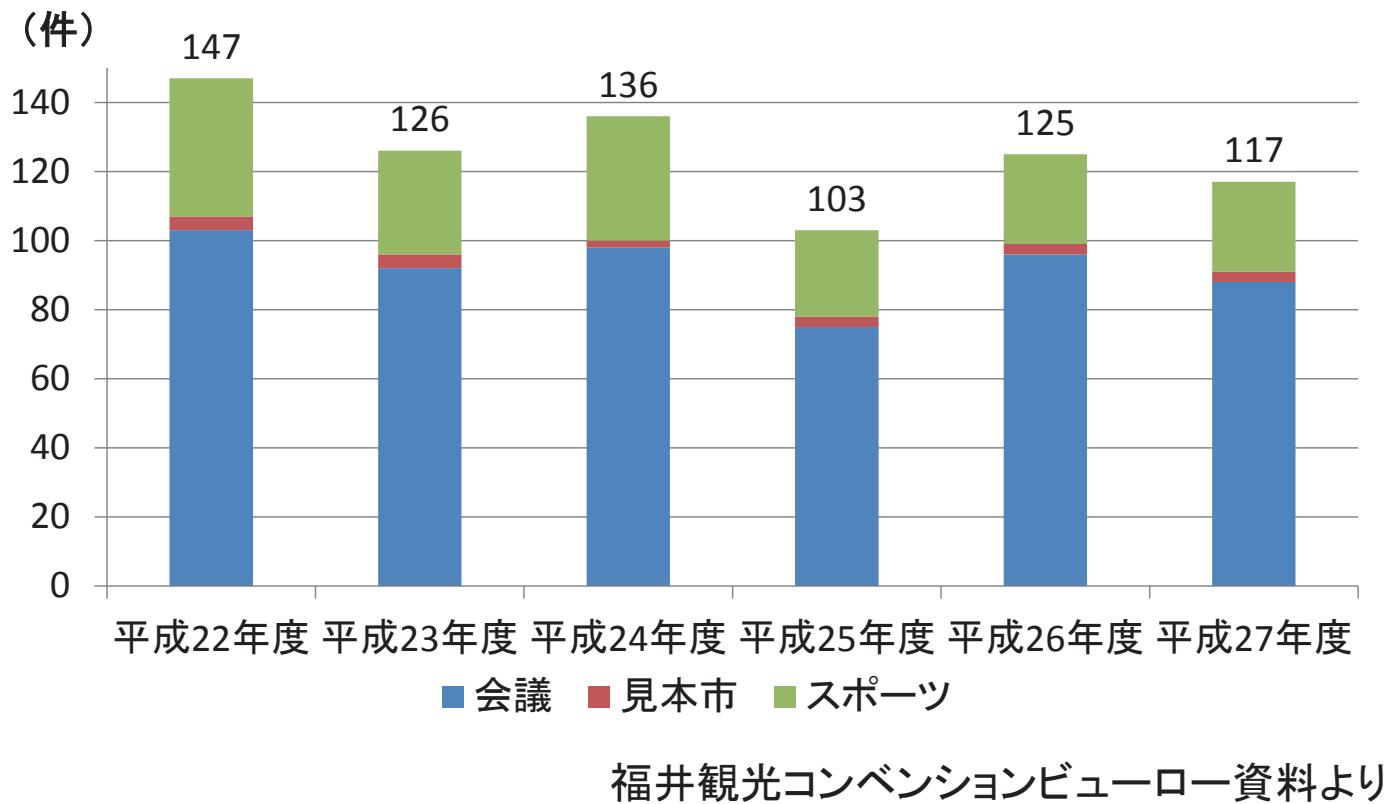
基本施策10 MICE誘致など戦略的分野における観光振興

経済波及効果が大きい「MICE誘致」や、将来の観光誘客につながる期待が高い「教育旅行」及び「商談会・ファムトリップ」を、観光振興の戦略的分野と位置づけて推進していきます。

MICEについては、主催者のニーズを踏まえ、福井ならではの会場(ユニークベニューやプログラム「(ユニークプログラム)」を提案していくとともに、海外からのMICE誘致に特化した誘致制度を設計するなど、福井観光コンベンションビューローと連携して、積極的に取り組んでいきます。

また、商談会やファムトリップを企画し、旅行関係事業者に福井の観光資源や観光コースをPRしていくほか、農山漁村ならではの体験ができる農林漁業体験民宿の充実など、教育旅行のニーズに応えられる体制を整えることで、宿泊を伴う教育旅行の誘致を促進していきます。優れた芸術を鑑賞する機会の充実を図ったり、文化活動に関する情報収集して、市民に提供することが必要である。

福井市におけるMICEの受入状況



文化会館のコンベンション利用状況(第1回資料再掲)

年度	コンベンション名	期間	参加者数
平成22年	大学による 学科・部門創立記念大会	1日	627名
平成23年	舞道団体発表会	1日	1,250名
平成24年	剣詩舞道大会(青少年の部)	2日	760名
	高等学校演劇大会	4日	537名
平成25年	剣詩舞道大会発表会	1日	100名
平成26年	吟詩会記念発表会	1日	400名
	舞道団体発表会	2日	363名
	食生活改善大会・推進員協議会大会	1日	972名
平成27年	協同組合連合会 全国大会	2日	420名
	全国集会	1日	750名
平成28年	剣詩舞道大会発表会	1日	500名
	舞道団体発表会	1日	700名

福井市内の他の主な受け入れ施設

施設名	メインホール	会議室数	その他の特徴
福井県国際交流会館	300名 (固定席)	6	・特別会議室では5カ国語同時通訳が可能(160人) ・和室・茶室等のほかパントリーや交流ラウンジ等もある
フェニックス・プラザ	2,000名 (一部可動席)	17	・500名の小ホールの他、各種楽屋がある ・3階には「ふくい市民国際交流協会事務局」があり、通訳ボランティア等の活動を実施。
福井県県民ホール (アオッサ)	570名 (可動席)	—	・楽屋、リハーサル室等もあり ・商業施設との複合施設内に立地
福井市文化会館	1,162名 (固定席)	5	—
ハピリンホール	432名 (可動席)	—	・楽屋、和室、リハーサル室、伝統芸能練習室等がある ・商業施設との複合施設内に立地
福井商工会議所	650名 (可動席)	6	・196名の国際ホールがある ・カフェ、レストランも同ビル内に立地
福井県生活学習館 (ユー・アイふくい)	712名 (可動席)	5	・189名の映像ホールの他、7の学習室、和室、調理実習室、楽屋等多数の施設がある

MICE関係者ヒアリングより

■ 文化会館の現状

- ・主会場としてのキャパシティは十分であるが、固定席でありレイアウトの変更要求に応えることができない。使用方法における柔軟性が低い点は課題である。
- ・市内に同規模の会場が他にもあるため、会場の問合せがあったときに、アクセスに優れているとは言えない文化会館を紹介することは少ない。
- ・文化会館にはカフェ等、会議の合間に休憩できる場所がない点は課題である。その他、MICE会場でお土産が購入できるかも重要な要素であるが、今の施設では物産の販売スペースを設ける場所がない。
- ・懇親会の開催にあたって、施設内にパントリー(配膳スペース)があれば十分であるが、理想を言えばバンケットルーム(飲食のためのスペース)があるとよい。

■ MICEのマーケットの概況

- ・全国に多数のMICE施設が建設されているものの、参加者が1,000人を超えるような規模のMICEの数は増加しておらず、誘致は厳しい競争の中にある。今は、昔のように施設を整備すればMICEが呼べるという時代ではなく、厳しい競争の中でMICE誘致の目的・ターゲットを明確化し、中長期的に取り組みを進める必要がある。
- ・MICEは基本的には、集客と集金のバランスにより成り立っている。福井市の場合、立地が良いわけではなく、集客的に優位ではない。ただ、例えば、福井市在住の会員が多い組織等であれば福井市を積極的に選ぶだろう。

MICE関係者ヒアリングより

■ 福井市のMICE誘致における課題(立地、体制面)

- ・福井市の地理的条件(都心からの移動時間等)と地名度からすれば1,000人を超えるような大規模MICEを積極的に誘致することは難しい。
- ・施設面以外でも、誘致に向けてはしっかりとした体制づくりが重要である。福井県、福井市、大学で緊密な連携体制を構築する必要がある。
- ・MICEの受け入れは簡単にできるものではない。宿泊先の選定、受け入れ環境の整備含めて、市と民間が一体的に取り組む必要がある。また誘致に向けても5年、10年かけて人的ネットワークを構築していく等の取り組みが必要である。この点、福井市の場合、目的・対象をもっと明確化した方がよい。
- ・文化会館でMICEを受け入れる場合、予約の優先順位については考え方を整理しておく必要がある。

■ 福井市のMICE誘致における課題(施設面)

- ・頻繁に直面している課題ではないが、1,000人以上開催の場合は施設面で対応に苦労する。福井市の場合、会議場と展示場が離れる他、飲食や宿泊も会場から離れてしまう。せめて分科会は同じ施設で行いたいという要望も聞くが、分科会については、同時に10以上の会議室が必要と言われる場合もあり、複数の施設を組み合わせて対応するしかない状況である。
- ・会場規模だけでなく、宿泊施設の受け入れ環境も影響する。今の福井市の状況では、2,000人規模は難しいが、1,000～1,500人程度までの場合は受入可能である。

福井市のMICEに関する取り組み

■ 福井市観光振興計画

経済波及効果が大きい「MICE誘致」を観光振興の戦略的分野と位置付け、推進していく

■近年の福井市内のコンベンション行事の開催状況（参加者500人以上のもの）

○平成28年度（予定）

	期間	人数	種別	開催場所
1	3日間	2,500	全国大会	フェニックス・プラザ、市営体育馆、サブアリーナ 等
2	2日間	1,200	ブロック研究会	フェニックス・プラザ、県民ホール、西口多目的ホール 等
3	2日間	1,200	ブロック研修会	ハーモニーホール
4	3日間	1,000	全国会議	県民ホール、市内ホテル
5	1日間	1,000	全国会議	フェニックス・プラザ
6	2日間	600	全国会議	県民ホール、地域交流プラザ、響のホール、市内ホテル
7	2日間	600	全国会議	市内大学、市内ホテル
8	2日間	550	全国会議	アオッサ、市内学校
9	2日間	520	全国会議	市内学校

○平成27年度

	期間	人数	種別	開催場所
1	1日間	2,000	全国大会	フェニックス・プラザ
2	2日間	1,200	ブロック研究会	フェニックス・プラザ
3	3日間	540	ブロック研修会	福井県県民ホール
4	2日間	525	全国会議	福井県県民ホール、地域交流プラザ
5	3日間	520	全国会議	市内大学、地域交流プラザ
6	2日間	510	全国会議	市文化会館
7	2日間	500	全国会議	市内大学、アオッサ
8	2日間	500	全国会議	福井県県民ホール、地域交流プラザ

第2回 福井市文化会館 整備基本構想・基本計画策定委員会

III 施設の目指す方向性（案）

平成28年11月29日

目 次

① 第1回委員会 まとめ	…	2
② 第2回委員会資料Ⅱ現況調査 まとめ	…	4
③ 施設の目指す方向性（案）	…	7

① 第1回委員会 まとめ

文化会館の現状 課題のまとめ(第1回委員会資料再掲)

- 建物・設備・舞台設備の老朽化
- 耐震性能が不足している
- 利用者用の駐車場が少なく、不便である
- 福井駅から距離があり、公共交通機関の最終便が早い
- 客用トイレに洋式トイレが少なく、個数も少ない
- 授乳室、おむつスペースなどの乳児・幼児対応ができていない
- 車椅子用トイレを始め、バリアフリー対応ができていない
- 楽屋用階段が急傾斜で危険
- 楽屋数が不足／練習室がない
- ホール搬入車両が隣接公園を使わざるを得ない(使用許可)
- 段差がありホール搬入がしにくい
- 搬入・搬出の際に、近接する住宅に迷惑がかかっている

第1回策定委員会のご意見より

子供や小・中・高校生の若い世代をターゲットにする
こどもたちに、良い公演を見せる
若い人たちが使いやすく、簡単にお披露目できる場

幅広い世代に文化に目を向けさせる
少子高齢化など、文化に対する意識改革
地域文化交流や市民の文化意識を育てる
文化に対する興味を持たせる
市民にいかに浸透させていくか

地域資源(伝統芸能など)の活用
経験や体験による芸術文化への興味
交流による芸術文化への刺激を促す
芸術家/専門家、プロとの交流

「まちづくり」「地域おこし」としての側面

福井市上位計画より

■第七次福井市総合計画（一部第1回資料再掲）

将来都市像

みんなが輝く 全国に誇れる ふくい

重点方針

◆ 豊かな地域づくり ◆ 輝く未来への挑戦



政 策

IV 学び成長するまち

政 策11 郷土の文化や歴史、自然を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

市民の文化芸術活動を支援するとともに、優れた文化芸術に触れる機会を創出し、文化活動の振興に努めます

施 策 市民の誇りとなる文化芸術を振興する

子どもから大人まで身近に文化芸術に触れ、創作活動に参加できるよう、市民や各種団体の文化芸術活動を支援します。

人材育成や環境の充実、魅力ある企画展の開催などを通して、市民が誇りを持っている文化芸術を振興します。

福井市上位計画より

■福井市教育に関する大綱

基本理念

みんなが学び成長するふくいの教育



方針9 市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる

市民の創造性を育み、その表現力を高めるため、市民や各種団体の文化芸術稼働を支援します。

また、心豊かな活力ある地域づくりのために、文化芸術の環境整備を進め、市民が文化芸術に触れる機会を充実します。

施策の方向性(1) 文化芸術活動の支援

施策の方向性(2) 文化芸術の振興

② 第2回委員会資料Ⅱ 現況調査 まとめ

【資料Ⅱ-①より】福井市文化会館の機能整理(案)

福井市文化会館について

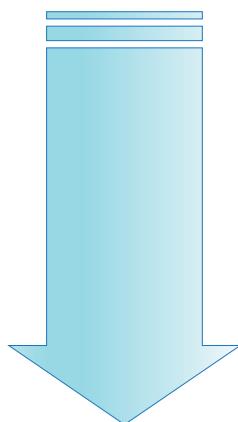
- 福井市文化会館は固定客席で鑑賞条件は良好、クラシック音楽から式典・演劇など、多様な演目に対応。
- 本番の他に練習・リハーサルで舞台を利用
- 福井県立音楽堂練習室は稼働率が高く、フェニックス・プラザにはリハーサル室1室、文化会館には練習機能・展示機能がない
- 日常的にふらっと立ち寄る機能がない

継続機能(案)

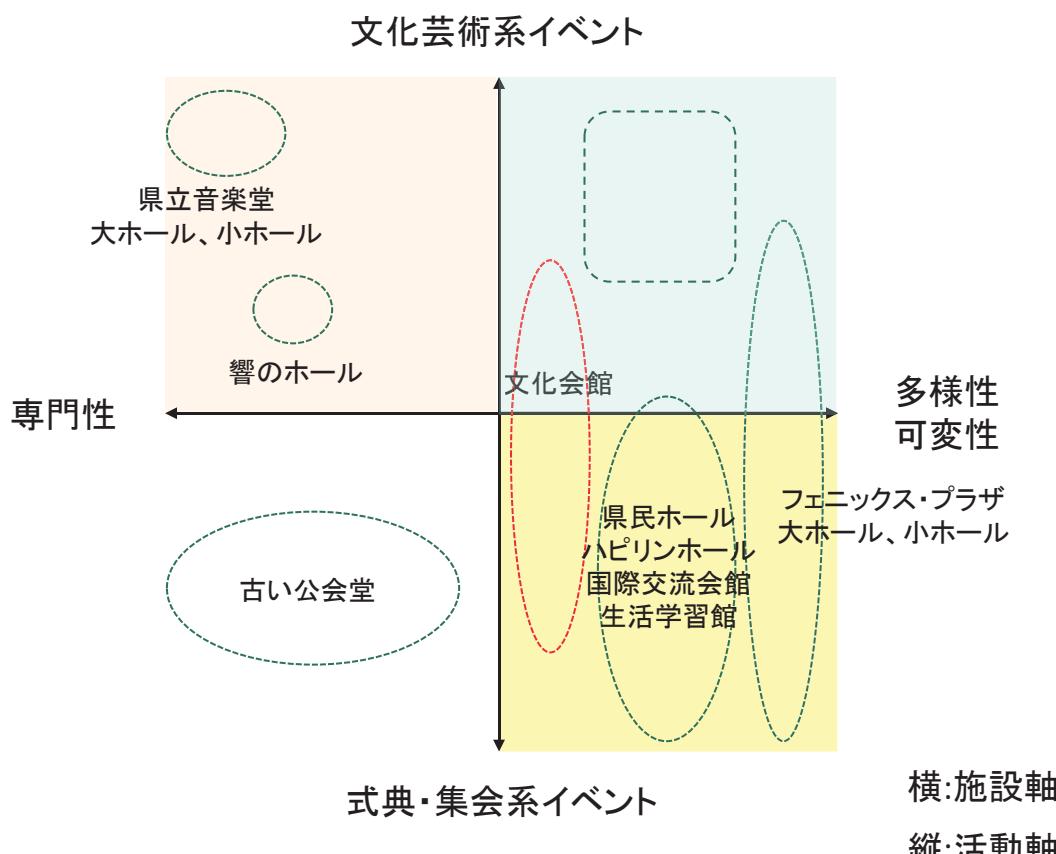
- 良好的な鑑賞条件
- 多様な用途への活用・利用
- アマチュア主体の文化活動としての拠点

充当機能(案)

- 舞台以外での日常的な創造活動の場
- 普及・育成事業や小規模発表の場
- 気軽に立ち寄れる情報コーナーや共有スペースの充実



主要ホールのポジショニングマップ



【資料Ⅱ-②より】市民ニーズのまとめ

■文化団体

- ・文化協会加盟団体として、伝統芸能、華道・茶道、美術に関連する団体が多い
- ・日常的な活動は個人宅や公民館を利用している(利用金がかからない場所を選択)
その際の重視する点は利用料金、メンバーの集まりやすさ、駐車場を考慮
- ・発表の場としては300席規模の施設での回数が多いが、美術・展示などの利用で平土間空間となる施設も利用されている
- ・重視する点は料金、公共交通機関の利用しやすさ、自家用車でのアクセス、駐車場、適切な広さ

■市民アンケート

- ・アンケートの年代は30代の回答が多かった
- ・鑑賞ジャンルとしてはオーケストラ、軽音楽、演劇が多く、回数は1~3回が多い
- ・観賞場所は文化会館、フェニックス・プラザ、県立音楽堂が多い、観たい演目がなければ県外、首都圏まで足を運ぶ
- ・足を運ばない理由は観たい演目や参加したい事業がない、公演鑑賞に興味ないから
- ・余暇を充実させるために整備が必要な施設として劇場・ホールが望まれている
- ・活動機会や鑑賞の情報提供も半数以上は満足しているがもう少し満足度を高めたい
- ・文化会館、フェニックス・プラザ、国際交流会館は駐車場に対する不満も大きい
- ・県立音楽堂に対する満足度は高く、クラシック愛好者のニーズは満たされている

■市民ワークショップ

- ・ぶんかじまんとして「伝統」「歴史」「食文化が豊か」「文化活動がさかん」
- ・ふくいまちじまんとして「景観」「自然」「食べ物」「人柄」があげられている
- ・文化会館の良いところ、良くないところ課題のまとめと同様の意見が多い

【資料Ⅱ-③より】エンターテインメント事業の動向まとめ ～ 興行利用への対応に関する論点～

■ 興行利用において求められる主な要件

- ・座席数は1,500席~1,600席
- ・駐車場を十分に確保し、公共交通でのアクセスが便利であることが望ましい
- ・搬入口は11tトラックを2台つけられる広さを確保、搬入動線に段差をなくす
- ・ステージは、最低、間口12間・奥行8間の広さ
- ・ステージの舞台袖や、舞台裏のスペースを十分に確保
- ・樂屋・トイレはきれい・快適な空間とすることが重要
- ・利用時間は、ホールの利用時間外に、柔軟に準備・撤収ができる運用とすべき
- ・ホール周辺に魅力的な飲食店等が立地していることが望ましい

■ 整備地に関しては、現在の文化会館の場所は、興行利用には不適

- ・駐車場台数の十分な確保、公共交通の至便性
- ・施設周辺の飲食店等の立地状況、周辺エリアの魅力

【資料Ⅱ-④より】MICE/コンベンションの可能性まとめ ～ MICE/コンベンションに関する論点～

■施設の主目的をどこに置くか。目的を踏まえどのような機能を導入するか

主目的	MICE主体	文化活動主体
施設の位置づけ	MICE誘致を進めるための施設	文化活動を主とし空いている時間でMICEに対応
導入が望ましい機能 ※イメージは参考であり、今後具体化	<p>市がターゲットとするMICEのために必要な施設・機能 【イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模かつ柔軟性の高いホール ・できるだけ多くの会議室を配置 ・飲食、宿泊、展示場等については市内の状況を踏まえつつ、文化会館内に一定整備 	<p>文化活動を主体としつつ現状の課題を改善 【イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民利用を基にした規模で音響や見やすさに配慮した席 ・会議室の数やレイアウトの検討時にMICE利用時の動線に配慮 ・カフェスペースの設置
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・MICEに関する市の戦略(対象、目的等)が前提として必要 ・運営(誘致)と一体での検討が必要 ・市内類似施設との差別化の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の利用ニーズ踏まえ、どこまで対応が可能か(空きがあるか)の精査が必要 ・市内他施設との差別化の検討はそこまで重要でない

③ 施設の目指す方向性(案)

○現状と課題

上位計画

国の方針「文化芸術の振興に関する基本的な方針」(抜粋)
・子供から高齢者まで、あらゆる人々が我が国の様々な場で、創作活動へ参加、鑑賞体験できる機会を提供する
・日本全国津々浦々から、世界中に各地の文化芸術の魅力が発信されている。

市の方針「第7次福井市総合計画」(抜粋)

将来都市像：みんなが輝く 全国に誇れる ふくい政策
○市民の文化芸術活動の支援
○優れた文化芸術に触れる機会を創出し、新しい文化活動の振興に努める

市の方針「福井市教育に関する大綱」(抜粋)

○方針 9 市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性 1 文化芸術活動の支援
①文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出
②市民の美術創作活動への意欲を向上
施策の方向性 2 文化芸術の振興
①文化芸術活動の担い手を育成

基礎調査より

福井市の文化芸術の現状・課題

・価値観やライフスタイルが多様化する中、心の豊かさやゆとりのある暮らしを求める人が増加しているが、市民の文化芸術活動の支援が課題
・活動は活発だが、担い手不足・後継者育成に課題

文化会館の現状・課題

・練習室、リハーサル室の不足
・文化会館はアマチュア主体の文化活動の拠点
・日常的にふらっと立ち寄る機能がない
・展示機能がない
・駐車場不足

MICE 誘致における課題

・宿泊施設不足
・大規模なコンベンションを行える適切な施設がない
・東京からみた福井市の位置が悪い（遠い）
・誘致目的、対象が不明確

策定委員会より

策定委員会からの意見

・子ども達に良い公演を見せる
・若い世代が使いやすい
・地域資源（伝統芸能）の活用
・芸術家／専門家、プロとの交流
・まちづくり 地域おこしとしての側面
・公共交通機関で行き易い場所に造るべき

エンターテイメント市場としての課題

・東京からみた福井市の位置が悪い（遠い）
・福井エリアに 1,500～1,600 座のホールが欠けている
・きれいな楽屋、空調等快適な施設が必要
・ホール周辺に魅力的な飲食店が立地していること
・大きな搬入口、搬入経路
・駐車場、公共交通の利便性

市民ニーズからみた現状・課題

・文化会館には、本格的な舞台機能・音響設備等を備えた大ホールやカフェなどの飲食店を求めている
・観たい演目や参加したい事業がない（あれば行く）
・練習場所不足
・駐車場不足

○求める機能

- ・アマチュア主体の文化活動の拠点
- ・日常的な創造活動の場
- ・普及育成、小規模発表の場
- ・良好な鑑賞条件（固定席）
- ・多様な舞台芸術への活用、利用
- ・共有スペースの充実（ホワイエ、練習室・多目的室、カフェ、駐車場）
- ・公共交通機関を利用しやすい立地
- ・大きな搬入口（搬入経路）、快適な施設（控室、空調等）
- ・福井市の情報発信（文化活動報告・会員募集など）

施設の目指す方向性(案)

■施設の目指す方向性

① 次世代への文化芸術の鑑賞・参加の場

- ・幼少期から芸術文化に親しみ、文化活動に参加・参画できる環境を整え、次世代の人材を育成します

② 地域住民や文化活動団体の交流の場

- ・気軽に立ち寄れる施設として、そこで活動している団体との交流や新しく活動する人材の掘り起こしを目指します。

③ 地域芸能などの地域資源の継承と活用

- ・地域芸能を伝えることで、歴史や文化を理解し、愛着と未来への継承を促します。

④ まちづくりと地域活性化

- ・市民が集い、交流する環境をつくりだし、新しい人の流れを生み出します。
- ・賑わう施設を目指し、地域活性化へつなげます。

⑤ 福井市民へ文化芸術情報を届ける発信拠点

- ・新たな文化創造拠点として、文化活動の魅力や福井市の魅力を発信・支援する施設を目指します

■基本的な方針

- 幅広い世代が利用しやすい施設
- 見やすい・使いやすい快適なホール
- 文化活動団体の創造活動を支援する諸室
- 来館しやすい施設

福井市文化会館 理念(案)

○キーワード

「創造性」、「交流」、「触れる機会(の充実)」、「育成」、「普及啓発」、
「まちづくり」、「発展(支援)」、「拠点」、「文化振興」、「清新な文化」、「連携」、
「絆」、「賑わい」、「創客」、「協働」、「共に歩む」、

○理念(案)

「創造」「発信」「育成」「交流」

- ・ 地域の人々が集い、交流する拠点・文化芸術に感動し、創造性を生み出す拠点としての文化会館
- ・ 人々の創造性や感性が交流し、清新な文化が集う文化振興の拠点

↓今回も白熱するチーム内での議論。発表も皆さんとても上手です。



第2回ワークショップテーマ 『文化会館でやってみたいこと』 『文化会館の将来像を考える』

平成 28 年 12 月 7 日(水)、福井市役所にて「第 2 回福井市文化会館を考えるワークショップ」を開催しました。第 2 回となる今回のテーマは、「文化会館でやってみたいこと』、『文化会館の将来像を考える』。

18 名の皆様にお集まりいただき、今回も 3 つのグループに分かれ、ワークショップを行いました。前回よりもより具体的な内容を考えるテーマに、はじめは皆さん戸惑っていたようですが、次第に議論は白熱していきます。

まずは、何を文化会館でやってみたいか、関わってみたいか。そして、そのことがどのように文化会館の将来につながっていくのか。その将来の文化会館があることで、周辺にどのような変化を与えるか。時系列に沿って考えていくこと、それから文化会館についてだけでなく、人やまちについても考えていくことが、大きなポイントとなっているようです。

福井市文化会館を考える
ワークショップかわら版

yarossa!

やろっさ！

意見のまとめ

文化会館でやってみたいこと、 関わりたいことは？



サンタチーム

- 施設のスタッフとして働く
- ワークショップや講座、教室の開催
- いろいろな事業
- 文化情報のアーカイブ設置
- 皆が利用しやすい施設にする



トナカイチーム

- 日常とハレの日が両立している
- 市民が体験する場をつくる
- 一流の芸術文化にふれ、感動と出会う
- 無料の場と有料の場を設ける
- 交流の場をつくる
- 自主事業の企画



雪だるまチーム

- 芸術文化の人材育成
- 野外コンサート、食イベント、講座、アウトリーチ、ワークショップなど
- 夢とロマンあふれる場
- 市民のよりどころとなる

文化会館は将来、 どうなっているといい？

- 人が集い、出会い、つながるたまり場
- 文化団体の活動拠点
- 福井県一の芸術文化の場
- ふらっと立ち寄れる施設
- 子ども、若者が集う場

- 市民全体の活動拠点
- 福井の顔となる場所
- 社会問題に取り組む
- 施設周辺にも人が集い、生活の中に文化施設がある
- 現在の周辺環境や施設環境が活かされている

- 利用しやすい料金
- いつでも誰でも使える場所
- 芸術文化のアーカイブ
- シンボルとしての施設
- もしなくなっていても、文化は残る

文化会館があることで、福井の まちや住民にどんな変化がおきる？

- 生活スタイルの変化：
- 職場と自宅の往復だけでなくなる
- 施設の周辺がにぎわい、経済が活性化
- 文化力の向上
- 市民一人ひとりが創造活動を気軽に
- 文化会館がまちのシンボルとなる

- まちに何かをやろう！という人が増える
- 文化が常に隣にあり、多文化を認め合う
- 明るく、豊かで彩りのあるまちになる
- 文化が育ち、文化を創造する
- 社会、世界に目を向けるようになる
- 誇れる福井になる

- 多様な価値観を認める人が育つ
- 文化会館が交流の場となり、当たり前の存在になる
- 市民の主体性、自立性の促進
- 毎日が楽しくなる
- 文化のまち、芸術のまちになる

次回予告

第3回ワークショップ

日 時：平成 29 年 1 月 13 日(金)
19 時～21 時

場 所：福井市役所

テマ：

「年間利用計画を
シミュレーションする」

お問い合わせ

〒910-8511

福井市大手 3 丁目 10 番 1 号
福井市役所 商工労働部 観光文化局
文化振興課

TEL : 0776-20-5367

FAX : 0776-20-5670

E-mail : b-shinkou@city.fukui.lg.jp

なんでもアンケートより

福井の文化芸術の未来を考えることでかなり明確に文化会館の役割が見えてきたように感じます。
これからさらに進めていくとすごいことになりますねー！

市の HP などに文化会館に関する掲示板をつくるなどして自由に書き込みしてもらうのもおもしろいと思います。

芸術監督、ホールマネージャー等を育成（やってみたい）すると、ホールの方向性や、可能性も多様になるのでは？

策定委員会でどういう話がなされているのかの共有をもっとしてほしい。

文化会館は市民文化のゆりかごであるべき。

今はとにかく、意見を蓄積して、次に生かしていくほしいと思う。
たくさんのご意見、ありがとうございました！

次回のテーマは「年間利用計画をシミュレーションする」。今回考案した「文化会館でやってみたいこと」をどのようなスケジュールで、どのように利用していくか、具体的に考えてていきます。皆さんで考案した、「文化会館の将来像」の実現に向けて、次回も自由闊達な熱い議論が交わされることを期待しています！